# 平成 29 年度 社会福祉法人 鈴鹿福祉会 事業報告書



## はじめに

平成 27~29 年度の 3 年間は、『中期経営計画 2016.4-2018.3』並びに各年度の事業計画に基づき、

- ★ 従来型特養及びショートステイの全室個室ユニット化によるユニットケアの提供
- ♪ 介護ロボット・機器やタブレットを用いた介護・看護記録システムの導入と活用
- ▶ 根拠に基づいたケアの実践と評価
- ➤ 研究大会等における実践事例の報告
- みえ福祉サービス第三者評価の受審とその結果の公表
- > 専門性の高い人材の育成、人づくり
- > 防災・防犯体制の充実
- ➤ 地域貢献活動の充実
- ➤ 組織風土改革

など、ケアの質の向上や組織体制の改善を目指し、日々努力してまいりました。

また、平成 29 年度は、新たに『中期経営計画 2018.4-2021.3』を策定し、

ピション: 『KAIGO【介護】の質の見える化を目指して』

と定め、専門的な知識や技術を活かした介護・福祉サービスをみなさまに、より"見えるかたち"になるように進めていくこととしております。

一方、国では介護保険制度の持続可能性の観点から、社会保障費の自然増加分として毎年 5,000 億円を堅持するとの方針があります。目標の一つとして、地域包括ケアシステムの推進を掲げており、私たち介護保険サービス事業者は、介護が必要なご高齢者が可能な限りご自宅での生活を継続することができるように、医療・介護サービスを切れ目なく提供することができる体制づくりが求められています。

そのため、本年1月には、ショートステイ及びデイサービスセンターの新築棟の運営を開始し、鈴鹿ゲリーンホームが目指す未来型の"自立支援KAIGO"の実現に向けて、次の一歩を踏み出しております。

しかしながら、鈴鹿市西部地域には特別養護老人ホ-ム(介護老人福祉施設)が当ホ-ムの50 床しかありません。そのため、ショ-トステイなどを含めた入居・滞在型サ-ピスに対するニースが高まってきており、地域の介護が必要なご高齢者並びに日々介護をされているご家族の在宅生活の継続が限界のところまできていることに危機感を抱いております。この点につきましては、早急に地域のみなさまのニースで応えていく必要があると考えております。

私たちは、地域のみなさまとともに歩み、築き上げてきたものがたくさんありますが、それに満足することなく、日々チャレンジを怠らず、経営理念である"信頼されるべき法人であり続ける"ことができるよう、スタッフ一同、さらに一層の努力を重ねてまいることをお約束し、平成29年度の事業についてご報告いたします。

社会福祉法人 鈴鹿福祉会 理事長 中村 敏

# 1. 事業基本理念に基づく社会福祉事業・公益事業の経営



▲ 経営理念

# 私たちは、地域に信頼されるべき 存在であり続けます





☆ 行動指針「気持ちをかたちに」

~こころづかいを地域のみなさまに~ ~思いやりを地域のみなさまに~



**季** 行動方針 「スタッフひとりひとりが「新たな目標」に向かい、チャレンジして いきます。」

# 2. 法人の概要・事業報告

※各取り組みの達成度については、

〇…達成できた

△…ほぼ達成できた(一部達成できなかった)

×…あまり達成できなかったで評価しています。

設立	平成4年4月9日			
住所	鈴鹿市深溝町字北林 29	56 番地		
電話	059-374-4600	FAX	059-374-4543	
E-mail	suzugu@mecha.ne.jp			
URL	https://suzuka-greenhome.jp 法人・各事業所の取り組みなどを日々掲載しています。 ぜひ、ご覧ください。			
事業計画 目標	「"介護"から未来型"KA	ぃ ざ IGO"へ~専門打	支術を地域のために~」	
事業報告	【法人〈理事・監事・評議員 1.未来型思考の経営 【○】デイサービスセンター・ショートス			

# 2.組織運営

計画に位置付けた事項	評価	内容等
① 月例会の開催(毎月)	[0]	>4/1, 5/1, 6/1, 7/1, 8/1,
		9/1、10/2、11/1、12/1、
		1/4、2/1、3/1 計 12 回開催
② 幹部会議の開催(毎月)	[0]	>4/20, 5/21, 6/20, 7/20,
		8/21、9/20、10/20、
		11/20、12/21、1/20、
		2/20、3/20 計 12 回開催
③ 連携会議の開催(毎	[0]	>4/5, 5/1, 6/2, 7/4, 8/8,
月)		9/5、10/3、11/7、12/7、
		1/9、2/6、3/6 計12回開催
④ 臨時会議の開催(随時)	[0]	>理事長面談:2月~3月実施、
		職員 90 名と面談
		≻採用時理事長面談:都度実施

# 3.社会福祉法改正に沿った運営

# (1)適切な法人運営

計画に位置付けた事項	評価	内容等
① ▶ 理事会(通常理事会・		>5/29、6/14、7/1、12/22、
	[0]	
臨時理事会)		3/12 計 5 回開催
		※6/14 より改正社会福祉法に
		よる新役員体制開始
≫評議員会(定時評議員	[0]	>6/13(定時)、7/28、1/9、
会及び臨時評議員会)		3/27 計4回開催
		※4/1 より改正社会福祉法に
		よる新評議員体制開始
②透明性の向上		
>監事監査·苦情解決第	[0]	>5/19 実施(相談・要望・苦情に
三者委員に対する報告		ついては毎月報告)
>内部経理(予算)監査の	[0]	<b>⊳5/18 実施</b>
実施		
➣外部経理監査の実施	[0]	> 4/6, 5/11, 6/8, 7/13,
		8/17 、 9/20 、 10/23 、
		11/21 、12/21 、1/22 、
		2/23、3/22 計 12 回実施
		>税理士法人日本経営による外
		部経理監査の実施し、透明性が
		確保された適切な会計処理を行
		いました。

▶ページビュ−数 110,896 >情報公開の推進(ホームペ -ジや情報誌等において 【目標:年間 10 万ページビュー】 積極的に発信) ユーザー数 10.876 ページ /セッション 4.84 ≻中身が見える法人を目指し、平 成 29 年 4 月 1 日からスマートフォ ン対応、画像だけでなく新たに動 画による公表の取組を進めまし た。 >県内だけでなく、県外・国外から のページビューをたくさんいただ き、目標としていた 10 万超える ページビューをいただきました。 >ホームページ及び各事業所玄関に おいて、定款並びに各種規程等 を公表いたしました。 >三重県ホームページ並びに 12/2 >みえ福祉第三者評価の 当法人ホームページにおいて公表 受審(デイサービスセンター) ③地域貢献活動の推進 ◎低所得者等支援 ▶社会福祉法人による利 **➣ショートステイご利用者 1 名に対し** 用者負担軽減制度 実施いたしました。 ➤三重県社会福祉法人地 >継続して参画いたしました。 域公益活動『みえ福祉 >7/7 事例発表を行いました。 の「わ」創造事業』参画 ⇒法定の 2.0%を上回る雇用 ≻法定雇用率を超える障 がい者雇用 (3.8%)を継続しております。 >若年者・女性等の雇用を行いま ≫就職が困難な方(障がい 者·若年者·女性·高年 した。 >地域的に対象者が少なく、なか 齢者・児童福祉施設等 からの退所者・外国人な なか採用につながらない外国人 ど)の雇用創出 材、或いは児童養護施設棟から の退所者雇用に関する方策が 課題となっております。 ◎認知症高齢者のサポート ≫認知症キャラバンメイト(鈴鹿 >4/9、9/23 連絡協議会出席 市 : 鈴鹿市西部地域包括 > 10/12 認知症サポーター講座開 支援センター)参画 催(鈴鹿市西部地域包括支援セン ターと共同) ≻2/5 養成研修参加

◎地域の見守り活動		
≫子どもを守る家(鈴鹿警	[0]	<b>➢通年賛同</b>
察署·PTA·鈴鹿市)賛同		
≻鈴鹿市徘徊高齢者等の	[0]	<b>➢通年賛同</b>
ための安心ネットワーク(社		
会福祉法人鈴鹿市社会		
福祉協議会)賛同		
>地域見守り活動【スクール	[0]	<b>➢通年賛同</b>
サポーター】(鈴鹿市教育委		
員会)賛同		
◎各種啓発		
>特殊詐欺【振り込め詐欺	[0]	≻かもめーるを用い、地域住民に
等】(郵便局と協同)		対して特殊詐欺の啓発を行いま
		した。
≫感染症防止(ノロウィルス・イン	[0]	>リーフレットやホームページ等により啓
フルエンザ等)、熱中症防止		発を行いました。
等		
◎介護相談·介護予防等		
➢高齢者介護予防	[0]	※在宅介護支援センター事業報告を
		ご参照ください。
>無料介護·健康等相談	[0]	>11/19 石薬師ふれ愛フェスティハ
		ルにおいて栄養相談及びメンタル
		コミットロホット・ハロの紹介を行い
		ました。
▶車いす等無料貸出	[0]	※在宅介護支援センター事業報告を
		ご参照ください。
◎その他		
➤いきいき介護フェスタ(鈴鹿	[0]	>9/2~4 参加(於:鈴鹿ハンター)
<b>亀山地区老人福祉施設</b>		
協会)参加	101	
→各種関係団体の委員会	[0]	▶全国老施協・三重県老施協・三
等への委員の就任		重県社協委員等に職員 2 名就
▂₩ば亡黔耂옯恝┟쑀ぁ	[0]	│ 任 │ ➢在宅介護支援センタ−事業報告
⇒地域高齢者通報体制整 備(鈴鹿市より受託)	101	
畑(野鹿巾より受託) ≫地域の商店街の空き店	[Δ]	をこ参照へたさい。   >1/1 サロン花葉を既設デイサービス
が現の商店街の空さ店 舗の利活用		~ 1/ 1 リロノ化集を成設ティリーピス   センターに発展的移転を行いまし
ロボマンイツノロノゴ		た。
≻その他	[0]	) た。   >4/24 深伊沢地区社会福祉協
~ (V)IE	101	議会総会出席、3/8 鈴鹿市立

# 鈴峰中学校卒業式出席

# 4.地域へのさらなる浸透・信頼向上

計画に位置付けた事項	評価	- 内容等
①法人理念に沿った行動		
>職員浸透率 100%を達		>95.0%(特養調査)であり、更な
成する		る浸透を進めていく必要がありま
		<del>す</del> 。
②≯創立 24 周年記念行	[0]	>ご家族 30 名(特養)、地域のボ
事(5月13日)		ランティア様にご参加いただきまし
4121 H 122 AV		た。
≫敬老祝賀会(9月18日)	[0]	≻お祝いのメニューを提供しました。
SEE		また当日はたくさんのご家族に
		ご面会をいただきました。
➣グリーンの秋まつり	[0]	>ご家族 24 名(特養)にご参加い
(10月9日)		ただきました。 デイサービスセンター・
8 01000 10000		ショートステイの増築工事の都合に
() 1/2 () () () () () () () () () () () () ()		より、規模を縮小して建物内で 開催いたしました。
W. Co.		
>> クリスマス会(12月16日)	[0]	>ご家族 25 名(特養)、地域のボ
minder of the state of the stat		ランティア様にご参加いただきまし
		<i>t</i>
>在宅サーヒ、ス利用者家族	[0]	>新築ショートステイ・デイサービスセンタ
懇談会の開催		-の見学・ご案内を随時行いまし た。
		, =•
		>2/18、地域の民生委員様、近
		隣住民のみなさま等に見学・体

		験いただきました。
③ (再掲)地域貢献活動	_	_
の推進		
④ その他	[0]	≻鈴鹿亀山地区広域連合 介護
		相談員受入 4/3、5/1、6/1、
		7/5 、8/1 、9/1 、10/4 、
		11/1、12/1、1/10、2/10、
		3/7 計12回
		≥4 月から介護相談員との意見交
		換ノート開始
		>7/5 鈴鹿亀山地区広域連合・
		介護相談員・事業者三者懇談
		会出席

# 5.「人財」の確保・育成

	•	
計画に位置付けた事項	評価	内容等
①「未来人財への投資」	[0]	>理学療法士・看護師・介護福祉
~どこの施設からも必		士等の専門人材の採用
要とされる「人財」に~		>ユニットリーダー・ <b>喀痰吸引・認知症</b>
~「ケアがわかる」人か		介護実践リーダー(実践者)、介
ら、「未来が見える」人		護口ボット・機器活用人材、自立
^~		(自律) 支援介護実践人材等の
		育成
		>人事考課の実施(6月・12月)
		≻施設内外研修会の受講
② 採用につながる活動		
の継続		
│ ▶各種就職ガイダンス等へ	[0]	>6/4、9/24、11/10 就職ガイダ
の参加		ンス参加
		<b>⇒5/18 平成 29 年度雇用主説明</b>
		会出席、学校就職担当教諭との
		面談、三重県ナースセンター及び児
		童養護施設並びに日本語学校
		への訪問を行いました。
   ▶ホームページや専門誌等に	[0]	>当ホームへ'ーシ'「ク'リーンホームだよ
よる情報発信		り」をご覧ください。その他専門
		誌等に掲載を行いました。
│ │ ≽ボランティア、実習生、職場	[0]	>ホ'ランティア・団体 (傾聴・グリーンの
体験受入		音楽会等)、実習生 4 名(介護支
		援専門員実務研修等)、職場体
		400 12 1 2 2 5 5 10 10 10 12 13 / 1 100 100 IT

5/9	【事業所	内】メンタル:	コミットロホゲット・	特養 15 名
4/20	【事業所 <b>診断装置</b>		超音波画像	特養 10 名
·	示」			
4/17			スファイルの開	居宅7名
4/4	2017年	度新入社		特養 2 名
日 程		研修名		受講者数
				ついては次のとおり
				1、延べ 422 名参加
			参加 ★合計:	
				+ 81 回、延べ 159 名
勉強会の開催			参加	
>施設内外研修σ	)受講、	[0]		† 27 回、延べ 263 名
③ 育成体制の向				
			7/19、12	2/5, 3/8, 3/15
			➢三重県社	会福祉協議会等
			会 9/29	-30、1/29-30
				<b>市老施協との合同委員</b>
				5/9、8/23、10/20
				ツク老施協災害対策推
				き施協 5/22、6/7、 5、10/24、1/18
				3、3/9、3/23、3/26 ************************************
員会等への委員	派遣		•	1/22、1/11、1/23、
▶関係団体が組織		[0]		協 6/27、7/18、
			, , ,	/27-28 計5回
派遣			11/30-	12/1、12/19-20、
<b>➢各種研修会へ</b> σ	)講師等	[0]	>10/26-2	27、11/1-2、
			場体験学	
				2 鈴峰中学校 2 名職
				せ会議出席
			連絡協議 ~6/13 6	会出席 /22 鈴鹿市ワークキャンプ
			,	/13 鈴鹿市福祉施設
			入を行いる	
			·	西小学校生徒9名の受
▶鈴鹿市ワークキャンプ	<sup>7°</sup> 賛同	[0]		峰中学校生徒 8 名、
		_		行いました。
			験4名(3	三重県新規採用職員他)

	パロ講習会	
5/11	職場体験受入事業所指導担当	特養 1 名
	職員研修会	
5/16	【事業所内】マッスルスーツ体験・	特養 11 名
	講習会	
5/17	鈴鹿亀山地区居宅介護支援事	居宅5名
	業所・介護支援専門員連絡協	
	議会講演会「普段も災害の時	
	もケアマネジャーはケアマネジャーとし	
	てできることをする」	
5/19	【事業所内 <b>】可搬式階段昇降機</b>	総務2名、特養3名
	体験·講習会	居宅 6 名、ディ1 名
5/22	【事業所内】「鈴鹿市の福祉用	居宅7名
	具購入・軽度者の福祉用具貸	
	与について」	
5/23, 5/24,	介護支援専門員資質向上研修	居宅 1 名
6/1,6/7,		
6/14、7/5、		
7/20、9/14、		
11/1、11/24、		
12/5、12/12		
5/27, 6/22,	主任介護支援専門員更新研修	居宅 1 名
7/4、7/25、		
7/26, 8/2,		
8/17、9/5		
5/31	社会福祉法人役員·幹部職員	総務1名
	研修会	
6/7	福祉用具セミナー「福祉用具を安	居宅1名
	全で安心に利用するために」	
6/13	コミュニケーション技術研修「笑いヨ	総務1名、特養2名
	ガ゙」	
6/15, 6/28,	介護支援専門員資質向上研修	居宅 1 名
7/7、7/21、		
8/10		
6/15	介護サービス事業者等集団指導	居宅 1 名
	【居宅介護支援】	
6/16	介護サービス事業者等集団指導	特養1名、ディ1名
	【特養・通所介護】	
6/17	【事業所内】「クーリンク'オフ <b>制度</b>	居宅7名
	について」	
L	I .	1

6/23	【事業所内】 <b>見守り支援</b> システム	総務 1 名、特養 15 名
	「眠り SCAN」体験・講習会	デイ1名
6/27	福祉施設における安全衛生指	特養 2 名
	導に係る指導会	
6/29, 6/30,	認知症介護実践者研修	特養 2 名
7/6, 7/7,		
7/10、7/12、		
8/17、8/18		
7/3	【事業所内】 歯科衛生士による	総務 2 名、特養 17 名
	「口腔ケアに係る技術的助言・	
	指導」	
7/5	みえぎん夏の懇談会講演会	本部1名、総務1名
7/7	三重県社会福祉法人地域公益	総務1名、居宅1名
	活動みえ福祉の「わ」創造事業	
	創立 1 周年記念大会記念講演	
	「地域社会における社会福祉法	
	人の価値」	
	介護保険事業者向け研修会	居宅 1 名
	「平成 30 年介護保険改定 事	
	業所…あなたの『質』が問われ	
	る」	
7/10	【事業所内】「 <b>味覚障害につい</b>	居宅7名
	て」	
7/13	多職種連携講演会「地域で支	居宅3名
	える認知症とは」	
7/15	日本高齢者虐待防止学会「高	居宅2名
	齢者虐待対応の刷新を求めて」	
7/19、7/20、	ユニットリーター研修	特養 1 名
7/21、8/21、		
8/22、8/23、		
8/24、8/25		
7/20	医療勉強会「糖尿病について」	居宅3名
	「薬剤師の在宅訪問について」	
	災害救助法·HUG 訓練	特養 1 名
7/27	鈴鹿西部地域包括支援センター	居宅 1 名
	ケアマネ支援会議「鈴鹿市介護	
	予防・日常生活支援総合事業	
	について」	
8/1,8/5,8/8,	<b>喀痰</b> 吸引等研修	特養1名
8/19、8/26、		

9/15, 9/22,		
10/18		
8/1,8/2	東海北陸プロック老人福祉施設	総務1名、特養2名
	研究大会(石川大会)	居宅 1 名
8/3,8/4,	認知症介護実践リーダー研修	特養 1 名
8/10、8/15、		
8/16、8/22、		
8/29,8/30,		
9/5、9/14、		
9/15、11/7		
8/3	鈴亀地区老施協県外施設視察	特養 2 名
	「若者が選ぶ企業 100 選 美	
	徳会ピアンカ見学・意見交換」	
8/8,8/9	役員セミナー	総務1名
8/10	人材育成研修「介護施設にお	特養 2 名
	ける OJT の効果的な進め方」	
8/12	【事業所内】歯科衛生士による	総務2名、特養8名
	「口腔ケアに係る技術的助言・	医務 1 名、ディ2 名
	指導」	
8/21	【事業所内】「新しいことに取り	居宅7名
	組める組織風土づくり」	
8/23	福祉用具セミナー「褥瘡予防とホ	居宅 1 名
	ジショニング 」	
9/4	多職種合同研修会	特養 2 名
9/6	インターリハ & 日 本メディックス	特養 2 名
	PRODUCT SHOW 2017	
9/9	【事業所内】歯科衛生士による	総務1名、特養7名
	「口腔ケアに係る技術的助言・	
	指導」	
9/11	【事業所内】「鍼灸・針治療につ	居宅7名
	いて」	
9/13	健康セミナー(メンタルヘルス)	総務1名
	防犯対策強化研修会「介護福	総務1名、特養1名
	祉施設の防犯体制強化対策」	居宅 1 名
9/21	女性活躍を進めるための説明	総務1名
	会	
9/25	要介護認定調査員現任者研修	居宅3名
	会	
9/29,9/30	東海北陸ブロック 21 世紀委員	総務1名、特養1名
	会合同研修会「人材」、ナーシン	

	グケア加納見学	
9/30、10/1	個別機能訓練・通所介護計画	デイ1名
	の書き方集中セミナー	
10/3	介護の日 市民公開講座「私の	居宅3名
	暮らシートこれからの社会~年齢	
	を重ねても住み慣れた場所で	
	暮らし続けるために~」	
10/5	介護報酬改定決起セミナー	本部1名、総務1名
10/6	メンタルヘルスに関する研修会	総務1名、特養2名
10/10、10/11	全国老施協 21 世紀委員会(拡	総務1名
	大 / 制度政策勉強会 」・「制度	
	提言に向けたディスカッション」	
10/12	【事業所内】 歯科医師による	医務1名
	「口腔ケアに係る技術的助言・	
	指導」	
	【事業所内】「 <b>一過性脳虚血発</b>	居宅7名
	作とは」	
10/13	コールト・エイシ、株式会社介護事例	居宅1名
	発表会	
10/14、10/15	地域包括ケア実践研究会四日	居宅1名
	市大会	
10/17、10/18	全国老人福祉施設研究会議	総務1名、特養2名
	(高知会議)「研究事例」報告、	居宅 1 名
	「全体会・分科会」聴講	
10/20	権利擁護に関する研修会	総務1名、特養2名
		ディ1名
10/27	特養部会研修会	特養 1 名
11/2	地域密着型通所介護事業者等	花葉 1 名
	集団指導	
11/7	鈴亀地区居宅介護支援事業	居宅3名
	所·介護支援専門員連絡協議	
	会研修会「法令順守!ケアマネシ	
	メント過程~ケアマネジメント過程の	
	ポイントを押さえよう~」	
	秋季事業所 1 日消防訓練	特養 1 名
11/10	日本理学療法士協会介護予防	居宅2名
	従事者研修会「介護予防の推	
	進におけるリハヒリテーション専門	
	職の役割」	

11/13	【事業所内】歯科衛生士による	特養8名、医務1名
	「口腔ケアに係る技術的助言・	
	指導」	
11/15	【事業所内】「エコノミークラス症候	居宅7名
	群と弾性ストッキングの装着方法	
	について」	
11/16	在宅医療ケア勉強会「癒し~部	居宅 1 名
	会報告」	
	介護支援専門員連絡協議会合	居宅2名
	同研修会「支援経過記録・サー	
	ヒス担当者会議の抑えどころ」	
11/21	ユニットケアフォローアップ研修 分科	特養2名
·	会「食事」「腸内フローラ」	
11/26	福祉避難所運営訓練	特養1名、居宅2名
11/27	運営管理研修会「アンカーマネシ	
	メント~イラッ!ムカッ!プチ!の解消	
	<b>法</b> 」	
12/5	アンガーマネシ・メント研修	特養7名
12/7	鈴鹿市権利擁護シンホジウム「認	
, .	知症になった波平さん」	
12/8	リーダーやこれからリーダーになる	総務1名、特養2名
	人のための研修会	ディ1名
12/9	【事業所内】歯科衛生士による	
, -	「口腔ケアに係る技術的助言・	
	指導」	
12/10	レット、コート、&認知機能向上エクサ	ディ1名
12, 10	サイス'セミナー	
	サイズセミナー 【事業所内】「 <b>若年の障がい者</b>	
	サイス'セミナー 【事業所内】「若年の障がい者 就労とケアマネの関わり」「支援経	居宅7名
	【事業所内】「若年の障がい者	
	【事業所内】「若年の障がい者 就労とケアマネの関わり」「支援経 過・サービス担当者会議の抑えど	
12/11	【事業所内】「若年の障がい者 就労とケアマネの関わり」「支援経 過・サービス担当者会議の抑えど ころ」	居宅7名
12/11	【事業所内】「若年の障がい者 就労とケアマネの関わり」「支援経 過・サービス担当者会議の抑えど ころ」 鈴鹿西部地域包括支援センター	
12/11	【事業所内】「若年の障がい者 就労とケアマネの関わり」「支援経 過・サービス担当者会議の抑えど ころ」 鈴鹿西部地域包括支援センター ケアマネ支援会議「平成30年度	居宅7名
12/11	【事業所内】「若年の障がい者 就労とケアマネの関わり」「支援経 過・サービス担当者会議の抑えど ころ」 鈴鹿西部地域包括支援センター ケアマネ支援会議「平成30年度 介護報酬改定と指定基準はこ	居宅7名
12/11	【事業所内】「若年の障がい者 就労とケアマネの関わり」「支援経 過・サービス担当者会議の抑えど ころ」 鈴鹿西部地域包括支援センター ケアマネ支援会議「平成30年度 介護報酬改定と指定基準はこ うなる!4月からの新しい介護	居宅7名
12/11	【事業所内】「若年の障がい者 就労とケアマネの関わり」「支援経 過・サービス担当者会議の抑えど ころ」 鈴鹿西部地域包括支援センター ケアマネ支援会議「平成30年度 介護報酬改定と指定基準はこ うなる!4月からの新しい介護 保険制度の準備と対策」・事例	居宅7名
12/11	【事業所内】「若年の障がい者 就労とケアマネの関わり」「支援経 過・サービス担当者会議の抑えど ころ」 鈴鹿西部地域包括支援センター ケアマネ支援会議「平成30年度 介護報酬改定と指定基準はこ うなる!4月からの新しい介護 保険制度の準備と対策」・事例 発表会・意見交換会	居宅7名居宅3名
12/11	【事業所内】「若年の障がい者 就労とケアマネの関わり」「支援経 過・サービス担当者会議の抑えど ころ」 鈴鹿西部地域包括支援センター ケアマネ支援会議「平成30年度 介護報酬改定と指定基準はこ うなる!4月からの新しい介護 保険制度の準備と対策」・事例	居宅7名

		T
	への在宅支援・家族支援につ	
	いて」	
1/11	認定調査員現任研修会	居宅3名
1/15	みえぎん新春講演会	本部1名、総務1名
	三重県介護支援専門員実務研	居宅 1 名
	現場実習にかかる受入事業所	
	説明会	
1/16	【事業所内 <b>】「認知症の方の対</b>	居宅7名
	応技術について~バリデーション	
	とユマニチュート・~」	
1/17	職能部会研修会	特養 1 名
1/20	【事業所内】歯科衛生士による	総務2名、特養5名
	「口腔ケアに係る技術的助言・	医務1名
	指導」	
1/29	介護報酬改定検討会	総務1名
1/29, 1/30	愛知県・名古屋市・高知県・三	総務1名、特養1名
	重県 21 世紀委員会合同委員	
	会	
2/1	鈴鹿市西部地域包括支援センタ	総務1名、居宅1名
	-地域ケア圏域会議	
2/4	認知症キャラハンメ小養成研修	総務1名
2/8	公益法人制度勉強会	総務1名
	「平成 30 年診療報酬・介護報	居宅1名
	酬(障がい者福祉サービス報酬)	
	ダブル改定対策「規範的統合」	
	経営戦略セミナー」	
2/9	豊かな介護人材が揃う魅力あ	総務1名
	る職場づくりセミナー「介護保険	
	る 概 物 ノンソビミノー・ 川 護 休 快	
	事業所における人材確保と外	
2/14	事業所における人材確保と外	本部 1 名
2/14 2/15	事業所における人材確保と外国人材の雇用」	本部 1 名 総務 1 名、ディ1 名
•	事業所における人材確保と外 国人材の雇用」 高齢者福祉事業経営セミナー	
•	事業所における人材確保と外 国人材の雇用」 高齢者福祉事業経営セミナー 平成 30 年度介護報酬改定セミ	
2/15	事業所における人材確保と外 国人材の雇用」 高齢者福祉事業経営セミナー 平成 30 年度介護報酬改定セミ ナー	総務1名、ディ1名
2/15	事業所における人材確保と外国人材の雇用」 高齢者福祉事業経営セミナー 平成30年度介護報酬改定セミナー 三重県難病研修会「難病患者とその家族を支えるために」	総務 1 名、ディ 1 名 居宅 2 名
2/15	事業所における人材確保と外国人材の雇用」 高齢者福祉事業経営セミナー 平成30年度介護報酬改定セミナー 三重県難病研修会「難病患者 とその家族を支えるために」 【事業所内】「骨が出す!最高	総務1名、ディ1名
2/15 2/16 2/19	事業所における人材確保と外国人材の雇用」 高齢者福祉事業経営セミナー 平成30年度介護報酬改定セミナー 三重県難病研修会「難病患者とその家族を支えるために」 【事業所内】「骨が出す!最高の若返り物質」	総務 1 名、ディ 1 名 居宅 2 名 居宅 7 名
2/15	事業所における人材確保と外国人材の雇用」 高齢者福祉事業経営セミナー 平成30年度介護報酬改定セミナー 三重県難病研修会「難病患者 とその家族を支えるために」 【事業所内】「骨が出す!最高	総務 1 名、ディ 1 名 居宅 2 名

	従業員満足度向上セミナー	総務1名、特養1名
2/22	鈴亀地区居宅介護支援事業	居宅6名
	所·介護支援専門員連絡協議	
	会「平成 30 年度の診療報酬と	
	介護報酬の改定について」	
2/23	鈴鹿市医師会「バイタルリンク説	居宅 1 名
	明会」	
2/27	災害時福祉支援リーダー養成講	特養 2 名、居宅 1 名
	座「災害時における福祉支援~	
	福祉避難所について学ぶ~」	
	【事業所内】歯科衛生士による	総務2名、特養6名
	「口腔ケアに係る技術的助言・	
	指導」	
3/2	法人担当者向け研修会「若者	特養 1 名
	に選ばれる職場づくりのため	
	に」	
3/5	ユニットケア研修フォーラム	特養 2 名
3/8	災害福祉支援セミナー「災害時に	特養1名、居宅1名
	おける福祉支援について考え	
	<b>る</b> 」	
3/10	【事業所内】歯科衛生士による	総務1名、特養7名
	「口腔ケアに係る技術的助言・	
	指導」	
3/15	鈴鹿西部地域包括支援センター	居宅 1 名
	研修会「家族への支援も必要と	
	思われる事例についての検討	
	会」	
3/18	【事業所内】「ケースファイルの開	居宅7名
	示」	
	j	1

#### ※採用時研修:都度実施

~ 沐巾时时间: 即及天心		
計画に位置付けた事項	評価	内容等
>キャリアパスシステムの改善と	[0]	>人事考課規程を改正し、キャリアパ
人事考課制度·目標管		ス・育成等に資する運用を図りま
理制度の効果的な活用		した。
>キャリアアップ°と就業規則・	[0]	≻給与規則並びに人事考課規程
給与規則等の連動		に規定しました。
➣人材育成担当者の育成	[0]	>研修の受講並びに人事考課・面
		談等による人づくりを行いまし
		た。
>研究大会等における事	[0]	>8/1、8/2(於:石川県)発表

例発表
 ⇒ 11/17-18 (於:高知県) 発表
 ◇ (5)-②をご覧ください。
 修会等への講師等派遣
 ◇ 関係団体が組織する委員
 員会等への委員派遣

# 6.職員の安全衛生管理の向上

計画に位置付けた事項	評価	内容等
① 衛生委員会の機能強	[0]	>4/20, 5/21, 6/20, 7/20,
化		8/21、9/20、10/20、
		11/20、12/21、1/20、
		2/20、3/20 計 12 回開催
②介護味ット・機器、ICTの		
利活用		
>介護ロボット導入支援事	[0]	4/19 膀胱用超音波画像診断装
業等助成金等の活用		置 (リリアム α -200) 導入(特養す
		ずらん・すみれユニット)
		>5/9 メンタルコミットロボット・ハロ導入
		(ショートステイいちょうユニット)
		>2/1 眠りSCAN 導入(ショートステイ
		かえで・ひのき・いちょうユニット)
		>3/1 リフト浴設置(ショートステイかえ
		でユニット】【助成金対象】
		>3/6 マッスルスーツ導入(特養さくら
		ユニット【助成金対象】
		>その他
		・タブレットを用いた介護・看護記録
		10 台 (特養・ショートステイ)
		・HAL1 台(特養こすもす・ひまわりュ
		ニット)
		・スタンディングリフト 1 台 (特養すずら
		ん・すみれユニット)
		・リフト浴 4 か所 (特養こすもす・すず
		らん、ショートステイひのき・かえでユニッ
		h)
		・床走行式リフト4台(特養・ショートステ
		(4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)
		・機械式個浴槽7台(特養・ショートス
		テイ・デイサービスセンター)
		・椅子浴 2 台・寝台浴 1 台 (特養・

		デイサービスセンター)を継続使用
③家庭と仕事の調和	[0]	≻育児・介護休業規程について法
(ワークライフハ゛ランス(WLB))		を上回る規定に改正するととも
等の取り組み		に、ホームページにおいてワークライフ
		ハランスに関する取組を紹介いた
		しました。
④ 健康診断の実施	[0]	>8/26 一般健康診断
		>2/20 夜勤·宿直者健康診断
		>採用時健康診断(都度)
⑤ その他	[0]	>7/24 男女雇用機会均等法、育
		児・介護休業法及びパートタイム労
		働法に基づく集団報告徴収

# 7.介護事故防止対策の徹底

計画に位置付けた事項	評価	内容等
>科学的根拠とデータに基	[0]	>ご利用者の安全・セロへの取組
づいた対策の徹底		みとして、毎月ヒヤリハット事例・事
		故事例について検討を行い、対
		策等についてスタッフの共有を図
		りました。

#### 8.高齢者虐待防止の徹底

計画に位置付けた事項	評価	内容等
➢虐待事例を教訓とした	[0]	≻防止の取組として、身体高齢者
啓発や教育の強化(権		虐待防止自主点検表記録・報告
利擁護を含みます。)		を毎月実施しております。
		>採用時に全ての職員に対して教
		育及び虐待事例を教訓とした注
		意喚起を行いました。
		>10/20 権利擁護に関する研修
		会受講
		>12/5 アンガーマネジメント研修受講
		>12/7 鈴鹿市権利擁護シンポジウ
		ム受講

# 9.身体拘束廃止の徹底

0121 11 17 17 17 17 07 11 17 120		
計画に位置付けた事項	評価	内容等
➣身体拘束廃止の徹底	[0]	>適正化維持への取組として、身
		体拘束チェックリストを作成・報告を
		毎月実施しております。

# 10.防犯対策の徹底

計画に位置付けた事項	評価	内容等
➣犯罪被害事例を教訓と	[0]	>9/13 防犯対策強化研修受講
した防犯体制の強化		>10/1 防犯対策マニュアル施行
		>1/31 防犯カメラ更新

# 11.非常災害対策の徹底

計画に位置付けた事項	評価	内容等
①東日本大震災・熊本地	[0]	>5/9、8/23、10/20 鈴亀ブロッ
震等の被災例を教訓と		ク老施協災害対策推進部会出
した防災行動マニュアル・		席
事業継続計画(BCP)に		>2/19 鈴鹿市・鈴亀ブロック老施
沿った体制等を強化		協福祉避難所締結式
②台風・記録的短時間大		>7/20 災害救助法·HUG 訓練参
雨等の被災例を教訓と		加(鈴鹿市・鈴亀ブロック老施協)
した各防災計画に沿っ		≥11/26 福祉避難所運営訓練参
た体制等を強化		加(鈴鹿市・鈴亀ブロック老施協)
		>2/27 災害時福祉支援リーダー養
		成講座受講
		≥3/8 災害福祉セミナー受講
		>5/23、8/28、2/9 消防訓練実
		施
		≥11/7 秋季事業所1日消防訓練
		参加(鈴鹿市消防本部)
		≥7/21 災害用物資確認訓練実
		施
		≥5/22、11/17 消防用設備等法
		定点検実施

## 12.施設整備の推進

計画に位置付けた事項	評価	内容等
⇒未来型施設·未来型事	[0]	>1/1 デイサーヒ、スセンター・ショートステ
業所の創造		/新築棟運営開始
		>10/30 太陽光発電売電事業開
		始

※各社会福祉事業等の事業報告については、別紙をご覧ください。

# 【別紙】各社会福祉事業等の事業報告

- 1.特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)【年間延べ入居者数:18,138人】
- (1) 入居者の状況 定員 50名(平成30年3月31日現在)※1床は短期入所空床利用

■要介護度【平均要介護度:4.12】 ■負担限度額認定

要介護認定区分	人数(人)
要介護 1	0
要介護 2	3
要介護 3	8
要介護 4	18
要介護 5	20
計	49

負担減度額認定区分	人数(人)
第 1 段階	1
第 2 段階	12
第 3 段階	22
第 4 段階	14
計	49

■性別•平均年齢

性 別	人数(人)
男 性	12
女 性	37

【平均:87.27歳】

平均年齢(歳)	最高齢(歳)
83. 50	91
88. 49	104

■食事の状況

副食等の形態	人数(人)
常食	20
刻み食	9
ソフト食	15
ペースト食	3
経管栄養	1
その他	1
計	49

■入浴の状況

浴槽の種類	人数(人)
個浴(ひのき風呂)	5
機械式個浴槽	14
個浴リフト浴	11
車いす浴槽	8
寝台式浴槽	11
計	49
-	

(2)入居申込者の状況(平成30年3月31日現在) 120名(男性38名、女性82名)、うち80点以上:61名

2.短期入所生活介護(ショートステイ) 【年間延べ利用者数:12,207人】

3.デイサービスセンター

【年間延べ利用者数:16,088人】

4.サロン花葉(平成 30 年 1 月 1 日より休止) 【年間延べ利用者数: 709人】

5.居宅介護支援事業所

【年間延べ利用者数: 2,105人】

6.在宅介護支援センター 介護予防普及啓発事業 I (毎週介護予防)

【年間延べ利用者数: 1,388人】

(計54回実施、1回あたり:25.7人参加)

7.在宅介護支援センター 高齢者通報体制整備事業 【年間対応件数:83人】

計:年間延べ 50,718人



# 第一種社会福祉事業

■ 第一種在云 <b>福仙事</b> 来				
名 称 所在地	特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム (三重県指定 2470300274 号) "真剣にユニットケアに取り組みました" 鈴鹿市深溝町字北林 2956 番地			
開設日	平成5年5月1日(ユニット	型 平成		
類 型	ユニット型※/特別養護老人	ホーム(介護	<b>養老人福祉施設</b> )	
定員	50 床(5 ユニット)			
事業の概要	常に介護が必要で、ご自宅での生活が困難な方(原則、要介護 3~5 の方) に、ケアフ・ラン(個別介護計画)に基づき、日常生活全般の支援を行う入居型サービス			
事業計画目標	「"介護"から"未来型KA	ນີ້ດຶ" <b>∼</b>	~専門技術を地域のために!~」	
事業報告	1.共通課題			
	計画に位置付けた事項	評価	内容等	
	(1) 業務改善会議(ユニッ	[0]	>4/7, 5/11, 6/8, 7/13, 8/10,	
	トリーダー会議)の開催		9/14、10/12、11/9、12/11、	
	(毎月)	[0]	1/11、2/8、3/8 計 12 回開催	
	(2) ユニット会議の開催	[0]	【こすもすユニット】	
	(毎月) 		4/19、5/11、6/12、7/18、 8/17、9/12、10/10、11/14、	
			12/11, 1/10, 2/13, 3/14	
			計 12 回開催	
			【ひまわりユニット】	
			4/19, 5/11, 6/12, 7/18,	
			8/17, 9/12, 10/10, 11/14,	
			12/11, 1/10, 2/13, 3/14	
			計 12 回開催	
			【すずらんユニット】	
			4/20, 5/21, 6/20, 7/21,	
			8/16、9/19、10/17、11/20、	
			12/11、1/19、2/22、3/22	
	計 12 回開催			
		【すみれユニット】		
			4/20, 5/21, 6/20, 7/21,	
			8/16, 9/19, 10/17, 11/20,	
			12/11、1/19、2/22、3/22	
			計 12 回開催	

		【さくらユニット】
		4/24、5/25、6/27、7/24、
		8/28、9/27、10/23、11/24、
		12/26、1/29、2/23、3/27
		計 12 回開催
(3) その他	[0]	【月曜 5 分ミーティング】
		12/4、1/8、1/22、2/12、2/26、
		3/12 計6回開催

# 2.「みえ福祉第三者評価改善計画書」に基づく改善

計画に位置付けた事項	評価	内容等
>「みえ福祉第三者評	[0]	★業務改善会議内において各ユニット
価改善計画書」に基	101	の進捗状況を各ユニットリーダーより
づく改善		報告。各ユニット会議において発信
7 (4)		し、改善を図りました。
		→本館の玄関下駄箱を改修しまし
		た。

## 3.ユニットケアの実践と学び

計画に位置付けた事項	評価	内容等
① 自分たちで実践と学		>ユニットケアチェックリストによる自己点
びを行う		検、業務改善会議での「ユニットケア
		Q&A」を用いた学び、各種研修
		会への参加、施設内勉強会の開
		催・学んだことのフィート・バック等を
		図りました。
② 新しいグリーンホーム方	[Δ]	>ユニットケアと自立支援介護、ICT・介
式を創り出す		護ロボット・機器を活かしたケアの模
		索・展開をしました。平成 30 年度
		は、これらの「見える化」にチャレンジ
		します。

# 4.「自立支援」介護、「自律支援」介護の実践

計画に位置付けた事項	評価	内容等
①『自「立」支援』: 科学	[0]	3.②(前記)をご覧ください。
的に根拠のある介護		
の実践を積み、来た		
る平成 30 年度介護		
保険制度改正に備		
える		

②『自「律」支援』:ユニット型特別養護老人ホームの基本方針「第 33条」に沿った支援

# 

【特養 5 ユニット:53 項目】

評価	H30.3	H29.3	差異
0	219	211	+8
Δ	41	44	▲3
×	5	10	<b>▲</b> 5

- ≻移動販売の活用
- >喫茶コーナー・ウット、デッキの活用
- ►グリーンの音楽会・アロマサークル・ハー モニカホランティア等
- ≻外食・ショピングケア等

#### 5.看取りケアの継続(科学的介護関連)

計画に位置付けた事項	評価	内容等
>入居者・家族の意向と	[0]	>ご入居者・ご家族の看取りのご要
マニュアルに沿った看取		望に対して全てお応えすることが
りケアの実施(医務係と		できました。
連携)		>各ユニット会議等において、見取り
		に関する勉強会を開催しました。

#### 6. 褥瘡予防の徹底(科学的介護関連)

計画に位置付けた事項	評価	内容等
▶マニュアルに沿った褥瘡	[0]	➢褥瘡を発生させないことを目的と
予防及び褥瘡ケアの実		した勉強会の開催、発生が疑われ
践 (医務係と連携)、		る際の初期対応等、チーム一丸とな
目標値:ゼロ		って対応できた。

#### 7.成果(アウトカム)を重視したケアの実践(科学的介護関連)

計画に位置付けた事項	評価	内容等
① 排せつ状態の改善		≻水分ケアについては、ばらつきをな
とケアの評価		くしていくことが課題となっていま
② 認知症の状態改善と		す。
提供したケアの評価		≻超音波利用排尿誘導法について
		は、対象者が限定される場合があ
		り、予想に反してデータが取れない
		ことがありましたが、その他のデータ
		については ICT の活用等により蓄
		積することができました。
③ 認知症専門ケア加算	[0]	≫認知症介護実践リーター研修 1

(I)の取得に向けた 認知症介護実践者 研修の受講 名、認知症介護実践者研修 2 名 修了しました。

# 8.ビッグデータの活用

н	= * * * * * * * * * * * * * * * * * * *		
	計画に位置付けた事項	評価	内容等
	>情報通信技術(ICT)に		>蓄積されたデータを細かく分析、評
	よるデータの分析、利		価し、ケアに活用していくことが課
	活用、評価、他部署と		題となっています。
	のデータ連携の強化		

# 9.未来型KAIGOの実践

計画に位置付けた事項	評価	内容等
>介護ロボット・介護機	[0]	>膀胱用超音波画像診断装置(リリ
器、ICT の利活用		アム α -200) 導入(特養すずらん・す
		みれユニット)、講習会
		>マッスルスーツ導入(特養さくらユニッ
		ト)·講習会
		≻タブレットを用いた介護・看護記録
		(特養・ショートステイ)
		>HAL (特養こすもす・ひまわりユニッ
		<b>h</b> )
		>>スタンディングリフト (特養すずらん・す
		みれユニット)
		>リフト浴 (特養こすもす・すずらん)、
		講習会
		>機械式個浴槽(特養ひまわり・すみ
		れ・さくらユニット)
		>椅子浴・寝台浴 (特養)
		を利活用しました。ご入居者の安全・
		安心のみならず、スタッフの負担軽減
		やモチヘーションアップの効果も見られる
		ため、さらに進めていきたいと思いま
		す。

# 10.プロフェッショナルケアマネジメントの実践

① 顧客利益を第一に	>真の個別ケアプランの作成に努め、
考える	看取りケア・口腔ケア等において一
② 成果を出す	定の成果を得ることができました。
③ 品質を追求する	しかし、24 時間シート・栄養ケア計
④ 価値を高める	画・機能訓練計画とのリアルタイムで
	の連携や介護ロボット・機器の利活
	用等を含め、ぞれぞれのご入居者
	が希望する生活の実現にはまだま
	だ課題を残しました。
	次年度は、これら点などを意識し
	たケアプラン作成に努めていきたい
	と思います。

# 11.プロフェッショナル社会福祉援助技術(ソーシャルワーク)の実践

内容等	評価	計画に位置付けた事項
>ホーム内外におけるソーシャルワークの	[0]	① 顧客利益を第一に
結果、結果として苦情数が減少		考える
し、入居申込者数が毎月増加し続		② 成果を出す
けており、経営理念である地域か		③ 品質を追求する
らの信頼につながりました。		④ 価値を高める

# 12.介護事故の防止、感染症のまん延防止、身体拘束廃止、虐待 防止の徹底

計画に位置付けた事項	評価	内容等
① マニュアル、規程の運用	[Δ]	≻ある程度できていますが、もう少
② 状況に応じた細や		し、細かなところまで徹底していく
かな改善		ことが課題です。
③ 身体拘束:ゼロを継	[0]	≻身体拘束廃止チェックリストによる自
続する		己点検を毎月実施し、適切な運用
		が図れています。
④ 介護事故:検証及び		≻検証を都度行っていますが、異な
再発防止を含めた		る利用者による同様の事故を防い
対策について万全		でいくことが課題です。
を期す		
⑤ 感染症まん延:ゼロ	[0]	≻当該年度のインフルエンザ流行を鑑
を目指す		みると、適切に防止できたと感じ
		ています。
⑥ 虐待:あってはなら	[0]	≻身体拘束廃止チェックリストによる自
ない		己点検を毎月実施し、適切な運用
		が図れています。

→研修会の受講、採用時の教育(全 スタッフ)を実施しました。

# 13.説明責任(アカウンタビリティー)と正しい情報を伝えた上での合意(イン フォームド・コンセント)の徹底

7-7 IDA		
計画に位置付けた事項	評価	内容等
① 科学的根拠に基づ	[0]	≻各種研修会の受講、勉強会の開
いた説明ができるた		催、施設長・リーダーによる指導・育
めの職員教育、訓練		成等を行いました。
② 「リーダースキルカード」を		≻カートの内容を意識して指導育成
用いてリーダーに対し		を行いましたが、より見える育成に
て見える育成を行う		していくことが課題です。

# 14.地域に対する施設機能の活用推進

計画に位置付けた事項	評価	内容等
① 地域住民の意向に	[0]	>地域の学校機関やボランティア、職
沿った施設の活用		場体験・実習生、見学者の受入れ
方法		等、柔軟な体制をとり、可能な限り
		ではありますが、地域住民の意向
		に沿った運営を行うことができたと
		思います。
② 営業・他事業所訪問	[0]	11.をご覧ください。
活動の強化		

#### 15.各ユニット運営計画

(1)こすもすユニット

ねらい	実施結果と展望
>ご入居者の暮らしを本人の希望に沿	≻実施しました。
った生活を営んでいただだけるように	
する	
> 居室を入居者自身の家と自覚してい	≽実施しました。
ただけるように整備を進める	
>趣味活動やサーケル活動が行われる場	≻次年度に持ち越します。
を用意して、ご入居者にユニットを超え	
た人間関係の構築の場を提供する	
>ナッチンをご入居者が利用しやすい状	≻実施しました。
態にする	≻しつらえ面について課題が残りま
	したので次年度に取り組んでいき
	ます。

▶ご入居者が食べたいときに食べられるように常備食を用意する	≻実施しました。
≫ご入居者個々の入浴の仕方や好み	≻実施しました。次年度はより詳し
をデータ化する	い記載をしていきたいと思いま
	<b>す</b> 。
➣ご入居者が外出しやすい環境を用意	≽実施しました。
して、積極的に外出していただく	
>ご家族への連絡を定期的に行い、家	≻実施していますが、会報の送付
族が入居者の状態等を把握していた	やホームページの活用等を含めて、
だけるシステムをつくる	実施できないときもありました。
▶ユニット内の情報を整理して、必要な情	≽実施しました。
報がすぐにわかる環境を整備する	

#### (2)ひまわりユニット

<ul> <li>▶ 24 時間シーと一覧表を活用し、全スタッフ間のコニュニケーションと情報共有の向上を図る</li> <li>▶ スタッフ間のコニュニケーションと情報共有の向上を図る</li> <li>▶ 24 時間シーと一覧表を活用し、全スタッ ました。</li> <li>▶ 2 ニット会議において随時更新をしました。</li> <li>▶ 自宅から持参していただいたり、各ユニットで交換してもらったものなどを活用したりして、できる限り家をイメージできる環境になるよう努めました。</li> <li>▶ 季節ごとのイヘントを実施しました。</li> <li>▶ ご入居者の好みを聞いて表札を選んでいただいたり、定期的に額を変更しました。</li> <li>▶ ご希望者と喫茶コーナーを活用しました。</li> <li>▶ 「精報収集の範囲を決め、担当ケアワーカーが情報の取り方を工夫して取り組みました。</li> </ul>	ねらい	実施結果と展望
<ul> <li>▶落ち着いて過ごすことができる空間をつくる</li> <li>▶自宅から持参していただいたり、各ユニットで交換してもらったものなどを活用したりして、できる限り家をイメージできる環境になるよう努めました。</li> <li>▶内装に変化を加える/暮らしにメリハリっける</li> <li>▶季節ごとのイベントを実施しました。</li> <li>▶ご入居者の好みを聞いて表札を選んでいただいたり、定期的に額を変更しました。</li> <li>▶ユニットを超えた入居者が集まり、趣味活動やサーケル活動が行われる場を用意する</li> <li>▶スタッフ間のコニュニケーションと情報共有の向上を図る</li> <li>▶情報収集の範囲を決め、担当ケアワーカーが情報の取り方を工夫して</li> </ul>	▶24 時間シートと一覧表を活用し、全スタッ	>ユニット会議において随時更新をし
つくる	7が同品質のケアを行う	ました。
などを活用したりして、できる限り 家をイメージできる環境になるよう努めました。  > 内装に変化を加える/暮らしにメリハリっける  > 季節ごとのイベントを実施しました。  > ご入居者の好みを聞いて表札を選んでいただいたり、定期的に額を変更しました。  > 1=ットを超えた入居者が集まり、趣味活動やサークル活動が行われる場を用意する  > スタッフ間のコニュニケーションと情報共有の向上を図る  > 情報収集の範囲を決め、担当ケアワーカーが情報の取り方を工夫して	▶落ち着いて過ごすことができる空間を	≻自宅から持参していただいたり、
家をイメージできる環境になるよう努めました。  ➢内装に変化を加える/暮らしにメリハリ つける  ――――――――――――――――――――――――――――――――――	つくる	各ユニットで交換してもらったもの
<ul> <li>う努めました。</li> <li>⇒ 本節ごとのイベントを実施しました。</li> <li>⇒ ご入居者の好みを聞いて表札を選んでいただいたり、定期的に額を変更しました。</li> <li>⇒ ユニットを超えた入居者が集まり、趣味活動やサークル活動が行われる場を用意する</li> <li>⇒ ご希望者と喫茶コーナーを活用しました。</li> <li>⇒ ご希望者と喫茶コーナーを活用しました。</li> <li>⇒ ご希望者と喫茶コーナーを活用しました。</li> <li>⇒ 「精報収集の範囲を決め、担当ケアワーカーが情報の取り方を工夫して</li> </ul>		などを活用したりして、できる限り
<ul> <li>▶内装に変化を加える/暮らしにメリハリ つける</li> <li>▶季節ごとのイヘントを実施しました。</li> <li>▶ご入居者の好みを聞いて表札を選んでいただいたり、定期的に額を変更しました。</li> <li>▶ユニットを超えた入居者が集まり、趣味活動やサークル活動が行われる場を用意する</li> <li>▶ご希望者と喫茶コーナーを活用しました。</li> <li>▶ご希望者と喫茶コーナーを活用しました。</li> <li>▶ご希望者と喫茶コーナーを活用しました。</li> <li>▶ 「情報収集の範囲を決め、担当ケアワーカーが情報の取り方を工夫して</li> </ul>		家をイメージできる環境になるよ
た。		う努めました。
<ul> <li>ご入居者の好みを聞いて表札を選んでいただいたり、定期的に額を変更しました。</li> <li>▶ユニットを超えた入居者が集まり、趣味活動やサークル活動が行われる場を用意する</li> <li>▶スタッフ間のコニュニケーションと情報共有の向上を図る</li> <li>▶情報収集の範囲を決め、担当ケアワーカーが情報の取り方を工夫して</li> </ul>	▶内装に変化を加える/暮らしにメリハリ	>季節ごとのイベントを実施しまし
選んでいただいたり、定期的に額を変更しました。  ▶ユニットを超えた入居者が集まり、趣味活動やサークル活動が行われる場を用意する  ▶スタッフ間のコニュニケーションと情報共有の向上を図る  ▶情報収集の範囲を決め、担当ケアワーカーが情報の取り方を工夫して	つける	た。
を変更しました。		>ご入居者の好みを聞いて表札を
<ul> <li>▶ユニットを超えた入居者が集まり、趣味 活動やサークル活動が行われる場を用</li></ul>		選んでいただいたり、定期的に額
<ul> <li>活動やサークル活動が行われる場を用意する</li> <li>▶ スタッフ間のコニュニケーションと情報共有の向上を図る</li> <li>▶ 情報収集の範囲を決め、担当ケアワーカーが情報の取り方を工夫して</li> </ul>		を変更しました。
意する  ➤ スタッフ間のコニュニケーションと情報共有の 向上を図る  → 情報収集の範囲を決め、担当ケア ワーカーが情報の取り方を工夫して	➤ユニットを超えた入居者が集まり、趣味	⇒ご希望者と喫茶コーナーを活用しま
⇒スタッフ間のコニュニケーションと情報共有の 向上を図る <b>トライン トライン トライン トライン トライン トライン トライン トライン </b>	活動やサークル活動が行われる場を用	した。
向上を図る <b>ワーカーが情報の取り方を工夫して</b>	意する	
	≫スタッフ間のコニュニケーションと情報共有の	>情報収集の範囲を決め、担当ケア
取り組みました。	向上を図る	ワーカーが情報の取り方を工夫して
		取り組みました。

☆協同の取り組み

【新規】 HAL(CYBERDYNE 製)の導入

▶実施しました。機器に課題等があった場合は、メーカーに改善要望等をしていきたいと思います。

【新規】リフト浴(モリトー製)の導入

≻計画のとおり実施しました。

【新規】床走行式リフト(パラマウントベッド製・アビリティーズケアネット製)の導入

≻身体状況が重度になってきても対応ができるように、介護機器の利活用

# とのケアワーカーの介護技術向上に努めました。

# (3)すずらんユニット

1.5.	
ねらい	実施結果と展望
➤全スタッフが同じ思いでご入居者をサホー	≻経営理念、老人福祉法第 33 条
トする	を周知徹底しました。
>ご入居者の変化に対応した 24 時間シ	>24 時間シートの作成・見直しを行
ートを作成する	いました。さらにスムーズに見直し
	を行っていくことが課題です。
≫家庭的な環境をつくる	≻各部屋の表札等、ご入居者の好
>快適な場所で過ごす	みに合わせて選択できるようにし
≫過ごしやすい場所をつくる	ました。
	>ご自宅からなじみのものの持ち
	込みを進めました。
	>テーブルを高さの異なる3種類とし
	ました。
≫昼間の活動(楽しみ)を増やす	>グリーンの音楽会、移動ハン屋さん
>> 日中の活動を増やし、夜間の安眠へ	等の移動販売、近所のスーパーマー
の取り組みを行う	ケット等、ご入居者に働きかけを行
	い、生活の充実につながるように
	取り組みました
<b>▶</b> スタッフの不安や不満を軽減する	≻団結力のある職場づくりをさらに
	進めていきたいと思います。

# (4)すみれユニット

ねらい	実施結果と展望
>ご入居者の変化に応じた 24 時間シート	>定期的に見直しを行いました。さ
の見直し	らにご入居者やご家族のご意向
	について深めていきたいと思いま
	<b>す</b> 。
≥24 時間シートの変更に応じた修正と一	>ご入居者の支援内容に合わせて
覧表の作成	業務の精査・勤務形態の見直し
	等を行いました。一覧化を進めて
	いきたいと思います。
>ご入居者がなじみを感じられる居室	>ご入居者のご意向等に合わせて
入口にする	各部屋の表札を作成しました。
>認知症の方でも自分の居室と理解で	
きる工夫を行う	
➤五感を刺激し、食べるだけでなく食事	>対面盛り付けの実施により、食べ
を楽しんでいただだく	たい量などについて、希望に沿っ
	た提供を行いました。

	▶食器の準備も生活行為であるため、食事直前に行うようにしました。
プご入居者に非日常を感じていただく機	➣傾聴ボランティア、アロマボランティア等
会を設けることにより、生活に楽しみ	にお越しいただきました。
をもっていただく	≻他のユニットと食事会を行い、社会
	的な交流ができるように努めまし
	た。

#### ☆協同の取り組み

【新規】 スタンディングリフトiーPAL(今仙技術研究所製)の導入

- ≻トイレ介助に使用しました。
- ➤ご入居者の状態に合わせ対応できるよう、勉強会を定期的に実施しました。
- ≻スタッフの腰への負担が軽減につながりました。

【新規】リフト浴(モリトー製)の導入

- >ご入居者、スタッフともに安全、安心な入浴につながりました。
- 【新規】 床走行式リフト(パラマウントベッド製・アビリティーケアネット製)の導入
  - ➤ご入居者の不安軽減(安定した移乗)、スタッフの腰痛予防につながりました。
- 【新規】膀胱用超音波画像診断装置 リリアム α-200(リリアム大塚製)の導入
  - ≫勉強会を開催しました。
  - ➤ご入居者の排せつリスムの把握や支援内容の適正化につながり、オムッからリハビリハンツに変更することができました。トイレでの排せつに成功した事例もありました。
  - ⇒オムツを使用せざるを得ない方についても、トイルでの排せつを支援する ことができました。
  - >さらにデータをとり、精度を高めていく必要があります。

【継続】根拠のある認知症ケアを目指す

- ➤Fimscore を用い、評価しました。(看護職員)
- >認知症ケアに関する研修会にスタッフ 2 名参加しました。

#### (5)さくらュニット

ねらい	実施結果と展望
▶経営理念を意識して仕事をする	≻ユニット会議に復唱を行いました。
➣ご入居者の暮らしぶりを把握し、その	≻日課表について常に変更・修正
方らしい生活を送っていただく	をかけました。
	≻スタッフ間の情報共有については
	「情報ノート」を活用しました。

▶暮らしの場をつくり、落ち着いた環境	>ユニットのフロアに生活とは関係が
で過ごしていただく	ないものを置かないよう徹底しま
➤(セミ)パブリックスペースを活用する	した。
	≻ユニット費を活用により環境を整備
	しました。
≫自分の部屋になる	≻ご自宅からのなじみのものの持ち
	込みを進めました。
	>ご入居者の意向により、衣類選
	択がしやすいようにタンスの高さ調
	整を行いました。
> 楽しみを持つことができる場をつくる	≻買い物ツア−を実施しました。
	≻ハブリックスペースを活用し、寿司を
	楽しみました。
	>ホームページをご覧いただいたご家
	族も喜ばれて見えました。

☆協同の取り組み(ショートステイけやきユニットと)

【新規】マッスルスーツ(イノフィス製)の導入

➤ H30.3 から導入し、活用中です。スタッフの腰への負担軽減につながっています。

【既存】床走行式リフトの使用

>ご入居者の安全とスタッフの介護負担軽減につながりました。

## 【医務係】

1.「みえ福祉第三者評価改善計画書」に基づく改善

計画に位置付けた事項	評価	内容等
≻改善計画に基づき、	[0]	≻改善に向け少しずつ取り組みまし
より良い施設になる		た。
べく改善に向け実践		
する		

#### 2.ユニットケアの実践と学び

計画に位置付けた事項	評価	内容等
>ユニットケアの知識を有す	[0]	>疑問に思うことをユニットリーダーに質
る職員からその考え		問しました。
方や手法について積		
極的に学ぶ		

#### 3.リハビリテーションの実践(科学的介護関連)

➣身体状態の改善と提
供したリハビリテーションの
数値評価(機能的自立
度評価(FIM score))
(特養係と連携)

- 【△】 | >ユニットスタッフと医務係3名でそれ ぞれ入居者全員を評価し、すり合 わせを行いました。認知項目で若 干の点数の違いが生じました。
  - ≻年度内に評価の更新までは至ら ず、もう少し簡易な評価法が向い ていると感じました。

# 4.感染症の発生及びまん延防止の徹底

ш			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	計画に位置付けた事項	評価	内容等
	➢感染症予防対策を徹	[0]	≻毎月委員会・報告を行いました。
	底し、まん延ゼロを目		≻10 月より検査キットを準備し、活用
	指す(嘱託医・特養係		しました。
	と連携)		>今冬季、全国的・近隣地域におい
			てもインフルエンザが流行しました
			が、当ホームの罹患者数は○名でし
			た。

#### 5.褥瘡予防対策の徹底(科学的介護関連)

計画に位置付けた事項	評価	内容等
>褥瘡又は褥瘡リスクの	[0]	>重篤な疾患による褥瘡の方、1 名
状態改善と褥瘡予防		治癒。1 名軽快方向。原因が圧迫
看護の比較評価を行		によるもの 1 名経過観察中。早い
い、1 年を通じて、褥		段階での対応が浸透しています。
瘡ゼロを達成する(嘱		ユニット毎の温度差を平均化してい
託医•特養係•管理栄		くことが課題です。
養士と連携)		

## 6.看取りケアの継続(科学的介護関連)

計画に位置付けた事項	評価	内容等
>入居者・家族の意向と	[0]	>ご家族と意思疎通が充分図れ、多
マニュアルに沿った看取		職種でも共有できました。
りケアの実施(嘱託医・		
特養係と連携)		

#### 7.口腔ケアの実践(科学的介護関連)

ı				
	計画に位置付けた事項	評価	内容等	
	①口腔状態の改善と提	[0]	≻口腔内がきれいになってきていま	
	供した口腔ケアの比		す。	
	較評価(歯科医師・歯		≫誤嚥性肺炎の罹患が少なかった。	

科衛生士・特養係と		
連携)		
②口腔衛生管理体制	[0]	>算定済(H29.7~)
加算の算定(歯科医		
師・歯科衛生士・特		
養係と連携)		

# 8.医療ニース、、重度化への対応(嘱託医・特養係と連携)

計画に位置付けた事項	評価	内容等
> インスリン・透析等、他施	[0]	>ご入居者・ご家族の意向を伺い、
設を断られる要素が		当ホームで対応可能な事柄を説明
多い方のニース゛に対応		し、意向と意識のずれが生じない
する		ように面談し、十分話し合いを行
		いました。

# 9.ビッグデータの活用

計画に位置付けた事項	評価	内容等
>情報通信技術(ICT)に	[0]	>ユニット毎の水分摂取量、食事・排
よるデータの分析、利活		せつ週間記録一覧を活用できま
用、評価、他部 署と		した。
の連携とのデータ連携		
の強化		

#### 【栄養管理‧調理部門】

※内容につきましては、ホームペーシ「クリーンホームだより」において、 全て公開するよう努めています。

# 1.「みえ福祉第三者評価改善計画書」に基づく改善

計画に位置付けた事項	評価	内容等
_	[0]	

#### 2.ユニットケアの実践と学び

計画に位置付けた事項	評価	内容等	
>ユニットケアの知識を有す	[0]	≻実施しました。	
る職員からその考え			
方や手法について積			
極的に学ぶ			

# 3.「温かみ」のある食事提供

計画に位置付けた事項	評価	内容等
① 真の対面盛付の徹	[0]	≻全ユニットにおいて実施しました。

		1	
	底(特養・ショートステイ		
	各ユニット)		
	②季節を感じられるメニュ	[0]	>行事食の提供、季節の食材の使
	-の提供		用、季節のおやつ作り等を行いまし
			た。
	③器や漆器の使用推	[0]	≻各事業所の目的に応じて実施しま
	進(特養・ショートステイ各		した。
	ユニット、テ゛イサーヒ゛スセンタ		
	-、花葉)		
	④一人ひとり異なる(個	[0]	≻各ユニットの状況に応じて実施しまし
	別)食器の利用推進	101	た。
	(特養・ショートスティ各ュ		720
	二小)		
	<b>–</b> 717		
	⑤ 個人持ちの常備菜	[0]	≻各ユニットの状況に応じて実施しまし
	等の保管、管理、提		た。
	供(特養各ユニット)		
	⑥ ユニット等における炊	[0]	≻各ユニット等において実施しました。
	飯の継続(特養・ショー		
	トステイ各ユニット、花葉)		
	⑦ ユニットやフロアにおける	[0]	≻各ユニットや事業所の状況に応じて
	簡単な調理を推進		実施しました。 さらに当取り組みを
	(特養・ショートステイ各ュ		進めていきたいと思います。
	ニット・テ゛イサーヒ゛スセンタ		
	-、花葉)		

# 4.栄養マネジメントの実践(低栄養・褥瘡の防止)(科学的介護関連)

****************	1=0.1.20	
計画に位置付けた事項	評価	内容等
◎目標:栄養状態の改		
善(低栄養状態の改		
善・床ずれ発生の防		
止及び早期治ゆを図		
る)		
◎過程(プロセス)		
① 課題分析(アセスメント)・	[0]	≻定期的にアセスメント・ヒアリングを実
ヒアリンク゛		施しました。
		⇒体重測定やBMI算出、血清アルブ
		ミン値等の検査データを活用しまし
		た。
② 栄養ケア計画案の作	[0]	≻栄養リスク状態別の頻度により計
成		画を作成しました。

т			
	③ サービス担当者会議	[0]	≻食事は生活や安全に直結するた
	への出席		め、即対応しております。
	④ 栄養ケア計画の説	[0]	≻定期的に説明・同意・交付を実施
	明・同意・交付		しました。
	⑤ ミールラウンド(食事の観	[0]	≻定期的にミールラウンドを実施しまし
	察)の実施		た。
	⑥ 他職種よる相談・連	[0]	≻状態変化時等、細やかな相談連
	携		携を図りました。
	⑦ ①へ戻る		

# 5.食中毒発生防止の徹底

計画に位置付けた事項	評価	内容等
>「改訂版 大量調理施	[0]	>スチームコンヘ'クションオーフ'ンを更新
設衛生管理マニュアル」に		し、ブラストチラー(急速冷却機)の
沿った食事提供(医務		活用等により、マニュアルに沿った
係•特養係•調理業務		食事提供を行いました。
委託会社との連携)		

# 6.ビッグデータの活用

計画に位置付けた事項	評価	内容等
>情報通信技術(ICT)に	[0]	➢電子介護看護記録モバイタルぐん
よるデータの分析、利		から、水分摂取量等の細かいデ
活用、評価、他部署と		-タを収集し、栄養ケアに活かすこ
のデータ連携の強化		とができました。

# 7.非常災害対策の徹底

計画に位置付けた事項	評価	内容等
① 備蓄食材等の把握・	[0]	>7/21 確認実施
管理•更新		
② 炊き出し訓練等の実	[0]	>8/5、11/18 炭火を用いて炊
施		飯等を実施しました。
		≥11/26 福祉避難所運営合同
		模擬訓練参加



# 第二種社会福祉事業

名 称	特別養護老人ホーム 鈴鹿ゲリーンホーム 短期入所生活介護事業所 /介護予防短期入所生活介護事業所 (三重県指定 2470300274 号)
所在地	鈴鹿市深溝町字北林 2956 番地·2958 番地
開設日	平成5年5月1日(ユニット型 平成26年5月1日)
類 型	ユニット型/老人短期入所事業
定員	30 床(3 ユニット)/平成 30 年 1 月~39 床(4 ユニット)
事業の概要	介護をしているご家族が、冠婚葬祭や病気・出産、休養や旅行等により、一時的にご自宅での介護が出来なくなったとき等において、ケアプラン(個別介護計画)に基づき、日常生活全般の支援を行う短期滞在型サービス
事業計画目標	『「当たり前のことを当たり前に」「当たり前と思われることを丁寧に」』~ 下見て暮らさず、上見て暮らす~
事業報告	1.共通課題

計画に位置付けた事項	評価	内容等
① 業務改善会議(ユニット	[0]	特別養護老人ホーム事業報告
リーダー会議)の開催		1-(1)をご覧ください。
(毎月)		
②ユニット会議の開催(毎	[0]	【けやきユニット】
月)		<b>&gt;</b> 4/10、5/15、6/14、7/13、
		8/14、9/15、10/19、11/20、
		12/14、1/22、2/20、3/22
		計 12 回開催
		【いちょう・ひのき・かえでユニット】
		<b>&gt;4/14、4/28、5/12、5/26、</b>
		6/9, 6/23, 7/7, 7/21, 8/4,
		8/18, 9/8, 9/22, 10/6,
		10/27、11/10、11/24、12/8、
		12/22、1/12、1/26、2/9、
		2/23、3/9、3/23 計24回開催

# 2.「みえ福祉第三者評価改善計画書」に基づく改善

計画に位置付けた事項	評価	内容等
>「みえ福祉第三者評価	[0]	>特別養護老人ホーム事業報告 2.を
改善計画書」に基づく		ご覧ください。
改善		

#### 3.ユニットケアの実践と学び

計画に位置付けた事項	評価	内容等
①自分たちで実践と学		>ユニットケアについて一定の成果が
びを行う		得られている一方、実践、自己啓
		発を高めていくことが課題です。
② 新しいグリーンホーム方		>運用等によりある程度実施できて
式を創り出す		いますが、さらに進めていくことが
		課題です。

# 4.「自立支援」介護、「自律支援」介護の実践

計画に位置付けた事項	評価		内容	等	
①『自「立」支援』: 科学的		≫現在の	身体状況	の維持、	医療機
に根拠のある介護の		関から	の退院直	後の利用	者につ
実践を積み、来たる平		いてよ	くなって自	宅に帰る	というサ
成 30 年度介護保険制		イクルを	概ね実施	できました	i.
度改正に備える					
②『自「律」支援』: ユニット	[0]	<b>≫「ユニッ</b>	トケアチェッ	クリスト」に、	よる改善
型特別養護老人ホーム		状況			
の基本方針「第 33		【いちょう	・ひのきュ	ニット:52	項目】
条」に沿った支援		【けやきュ	ニット:53	項目】	
		【かえでユ	ニット:3 月	]のみ 5 ]	頁目】
		評価	H30.3	H29.3	差異
		0	120	115	+5
		Δ	32	32	±Ο
		×	15	15	±Ο

# 5.看取りケアの継続(科学的介護関連)

計画に位置付けた事項	評価	内容等
≻入居者・家族の意向と	[0]	>可能な限りご本人、ご家族のニー
マニュアルに沿った看取り		スに沿う支援を行うことができま
ケアの実施(医務係と連		した。
携)		

# 6.褥瘡予防の徹底(科学的介護関連)

計画に位置付けた事項	評価	内容等
▶マニュアルに沿った褥瘡	[0]	⇒褥瘡予防に資する研修をユニット
予防及び褥瘡ケアの実		会議内で開催しました。
践(医務係と連携)、目		
標値:ゼロ		

### 7.成果(アウトカム)を重視したケアの実践(科学的介護関連)

· · / / / / / / / / / / / / / / / / / /	<u> </u>	4224 (   1   1   1   2   2   2   2   2   2   2
計画に位置付けた事項	評価	内容等
①排せつ状態の改善とケ	[0]	≻水分ケア、栄養ケア、運動、うなが
アの評価		し排尿を行い、一定の成果が得ら
		れました。
	[0]	≻膀胱用超音波画像診断装置を用
		い、うながし排尿を実施しました
		が、数字による評価が弱いことが
		課題となっています。
② 認知症の状態改善と	[Δ]	>MMSE (ミニメンタルステート検査) を実
提供したケアの評価		施しましたが、まだまだケース数が
		少なく、見える化・見せる化までは
		至りませんでした。

### 8.ビッグデータの活用

計画に位置付けた事項	評価	内容等
>情報通信技術(ICT)に		特定の顧客データ分析は行えている
よるデータの分析、利活		が、全ケースの分析・利活用・評価を
用、評価、他部署との		実施することが課題です。
データ連携の強化		

# 9.未来型KAIGOの実践

計画に位置付けた事項	評価	内容等
▶介護ロボット・介護機器、	[Δ]	>>メンタルコミットロホ'ット・ハロ導入(いち
ICT の利活用		ょうユニット)・講習会
		>眠り SCAN 導入(かえで・ひのき・
		いちょうユニット)・講習会
		>リフト浴設置(かえでユニット)・講習
		会
		≻タフレットを用いた介護・看護記録
		>リフト浴(ひのき・かえでユニット)・講
		習会
		≻床走行式リフト
		>機械式個浴槽(けやき・いちょうユ
		ニット)
		を利活用しました。ご入居者の安
		全・安心のみならず、スタッフの負担
		軽減やモチヘーションアップの効果も見
		られるため、さらに進めていきたいと

思います。

#### 10.プロフェッショナルケアマネジメントの実践

11.プロフェッショナル社会福祉援助技術(ソーシャルワーク)の実践

計画に位置付けた事項	評価	内容等
① 顧客利益を第一に考	[0]	≻スタッフに対して、利用者から顧客
える		への考え方の転換を都度細かく
② 結果を出す		伝えることで達成できたと思いま
③ 品質を追求する		す。
④ 価値を高める		

# 12.防災、介護事故の防止、感染症のまん延防止、身体拘束廃止、虐待防止の徹底

計画に位置付けた事項	評価	内容等
① マニュアル、規程の運用	[0]	➢概ねできました。
②状況に応じた細や		≻介護事故について検証を都度行
かな改善		っていますが、異なる利用者によ
③身体拘束:ゼロを継		る同様の事故を防いでいくことが
続する		課題です。
④ 介護事故:検証及び		
再発防止を含めた対		
策について万全を期		
す		
⑤感染症まん延∶ゼロ		
を目指す		
⑥虐待:あってはなら		
ない		

# 13.説明責任(アカウンタビリティー)と正しい情報を伝えた上での合意(イン フォームド•コンセント)の徹底

計画に位置付けた事項	評価	内容等
①科学的根拠に基づい	[0]	>施設内外研修、業務改善会議、
た説明ができるため		ユニット会議等により実施しまし
の職員教育、訓練		た。
② 「リーダースキルカード」を	[×]	>カードの内容を意識して指導育成
用いてリーダーに対し		を行いましたが、より見える育成
て見える育成を行う		にしていくことが課題です。

### 14.地域に対する施設機能の活用推進

計画に位置付けた事項	評価	内容等	
------------	----	-----	--

① 地域住民の意向に沿	[0]	≻可能な限りではありますが、地域
った施設の活用方法		住民の意向に沿った運営を行う
		ことができたと思います。
② 営業・他事業所訪	[0]	<b>&gt;毎月実績報告の際に訪問等によ</b>
問活動の強化		り実施しました。

### 15.各ユニット運営計画

(1)いちょうユニット

ねらい	実施結果と展望
>ご利用者の暮らし、自宅での暮らし	>ユニット会議で第33条、経営理念を復唱
の継続を支援するために、老人福	し、境域担当者により第33条をテーマとし
祉法第 33 条をユニットのスタッフが理解	て勉強会を開催しました。
してケアを行う	≻ユニット内で問題が生じた場合は前記への
	理解を問い、改善に努めましたが、個人
	差も見られ、引き続き課題として取り組ん
	でいく必要があります。
▶24 時間シートの内容に沿いながら支	≻ケアワーカーの意見を聞き取り、ソファやハーテ
援を行い、どのスタッフでも同品質の	-ション等を設置して、ご利用者がゆっくり
支援が提供できるようにする	と過ごせる設えを工夫してきました。
>ご利用者が自己選択して、日中、く	>物品を当初のまま固定配置するのではな
つろぎたい場所で過ごせる	く、ご利用者の状況に応じて配置を変え
▶リビングと廊下の境目が感じられる	る等、安心安全に過ごしていただける環
ようなしつらえにしていく(大きな空	境づくりを行いました。
間から小さな空間にしていく)	≻生活に不要なナースコールの灯りはケアワーカ
	-がカバーを作成し、極力目立たないよう
	な取り組みを実施しています。
	>課題としては、ご利用者の心身の状況に
	より、設えに制限を行わざるを得ないとい
	う問題が生じており、改善についてスタッフ
	と検討していきたいと思います。
➤レクリエーションの内容をご利用者の好	≻レクリエーションの実施が困難な時やワンハタ
みのものや外部との交流も取り入	-ンになっていることがあったり、外部との
れつつ行っていく	交流(ボランティア等を含む。)があまり実施
	できませんでした。
	≻引き続き次年度も目標として設定し、ご
	本人に必要な日常生活内での機能訓練
	やアクティビティ等を実施していきたいと思
	います。

>季節ごとに行事を開催し、季節を感じて ▶季節に応じた行事を定期開催し、ご 利用者に季節を感じていただいた いただけるように取り組みましたが、外出 り、外出の機会を提供する について進捗はありませんでした。 ≻次年度はご本人の意向を確認しながら外 出の検討、本館の喫茶コーナーの活用等に 取り組んでいきたいと思います。 ▶トイレでの排尿回数を増やし、尿取 ≻ご利用者の状態に合わせて尿取りパットを りパットのサイズを小さくしていく、リハ 小さくする・誘導時間の変更をしました。 変更があった場合は、全スタッフが把握で ビリパンツから布パンツで過ごせるようケ アを行う(トルでの排せつを増やし、 きるように発信し、統一したケアを行うこと 気持ちよく過ごしていただく) ができるよう努めました。また、ユニット会 議で利用者の課題を見つける取り組みを 行いました。 ≫次年度は尿取りパットの尿量測定等を行 い、ご本人にあった排せつリズムや用品の 改善に取り組んでいきたいと思います。 ➢ご利用者が気持ちよく、安心して入 >24 時間シートを確認し、ご利用者に合わ 浴できる。 せたに入浴を実施しました。入浴支援に 課題があるご利用者への支援について も、スタッフ間で意見交換を行い、24時間 シートに反映し、穏やか入浴してもらえるよ う取り組みました。 ➢排せつリズム把握のための支援方法 >10月より、ユニット会議後にミーティングを行 や、ご利用者の日中・夜間の支援方 っていましたが、モニタリング等に時間を要 法、ユニット内の設えについて、ユニットス するため、実施できないこともありました。 タッフで意見交換する場をつくる。 教育担当者・各ユニットリーダーと相談検討 していきたいと思います。

#### (2)ひのきュニット(及び新設かえでユニット)

ねらい	実施結果と今後の展望
>ユニット型特別養護老人ホームとして目	≻毎月のユニット会議において第33条・経
指すところを理解し、ご利用者の暮	営理念の意味を確認しました。 スタッフに
らしが継続したものとなるよう支援	よって理解力に差があり、11月に勉強会
する。	を開催しました。
	≻次年度も目標に掲げ、継続して理解の推
	進を行います。
> 24 時間シートを活用することで個々の	>新規ご利用者や定期ご利用者、長くご利
ご利用者に対しユニットスタッフが同品質	用されている方に対してはできているが、
の支援を提供する	ほとんど利用がなかったご利用者に対す
≫協力ユニットのスタッフが 24 時間シートを	る 24 時間シートの活用に支障が見られ

確認することで、なじみのないご利 た。再度 24 時間シートの重要性について 用者に対しても本人の意向や好み、 ユニット会議で説明。それ以降、運用につ 支援の方法等を把握することで適 いては問題がありませんでした。 ≫次年度も目標に掲げ、継続して理解の推 切な支援を行う 進を行います。 >ユニット費を活用し、ついたてや畳スペース、 ➤JLデングは食事をしたり、落ち着いて 過ごせる場とする/少人数でくつろ 小テーブル、いす、観葉植物等を購入し、 げる空間を工夫し、個々のご利用者 個人が落ち着ける空間づくりを行いまし が自分の暮らしをできる環境をつく た。 ▶ユニットでの炊飯だけでなく、簡単な調 **▶ユニット費のほぼ全てを前記に使用したた** 理にもスタッフとご利用者で取り組ん め、予定していた物品購入は次年度に購 で行くことで、より家庭的な環境をつ 入することにしました。 くる >ご利用者の食べたいものや希望に沿って 一品程度ユニットで調理し、提供したところ 満足を得ることができました。 ▶10 月より、ユニット会議後にミーティングを行 ▶ュニットミーティングを実施し、ユニットにおけ っていましたが、モニタリング等に時間を要 る問題点について共通理解を深め るとともに、課題点を発掘する/出 するため、全て実施できないこともありま された問題点や課題について意見 した。教育担当者・各ユニットリーダーと相談 を出し合い、改善に取り組むことで、 検討していきたいと思います。 ユニットが利用者にとって暮らしやすい 環境になる

#### ☆共同の取り組み

【新規】 メンタルコミットロボット・パロ(知能システム製)の導入

→長時間使用は飽きられることがあったり、乱暴に取り扱われることもありました。原因として、スタッフの理解不足の面も見られたため、改めて使用方法等の説明等に取り組んでいきたいと思います。

#### 【新規】リフト浴(モリトー製)の導入

- →ご利用者、スタッフ双方の負担を軽減できた。リフト浴に恐怖心のあるご利用者については、別のタイプの機械式個浴槽をご利用いただくなど個別対応によって入浴を実施できた。
- >リフト浴の使用についてはトラブル等も発生していないため、次年度も今年度同様の取扱いにより入浴ケアを実施します。

#### (3)けやきユニット

ねらい	実施結果と今後の展望
≫老人福祉法第 33 条と経営理念を理	≻ユニット会議時での唱和
解することで、同じ方向性をもってケア	≻スタッフは経営理念、第33条を理
を展開する	解しています。

I	>ご利用者の暮らしぶりを把握し、その	≻利用開始時、介護保険更新時に
	人らしい生活を送っていただく	24 時間シートについて適切に作成・
		更新しました。
	>いつでも好きな場所で過ごせる環境	>ユニット内の設えやハブリックスペース
	をつくり、気持ちよく過ごしていただく。	の活用を図りました。
	>>日々の生活の中に、日々の楽しみを	<b>⊳より興味があることを探り、充実感</b>
	作っていく。	が得られるように取り組んでいきた
		いと思います。
	>>ユニット会議においてユニット運営の統一	>ユニット会議においてユニット運営の
	を図る	統一を図りました。

☆共同の取り組み(特別養護老人ホームさくらユニットと)

【新規】マッスルスーツ(イノフィス製)の導入

>3/1 導入し、利活用を進めています。

【既存】床走行式リフトの使用

≻活用することで、ケアワーカーの腰痛予防につながりました。



### 第二種社会福祉事業

	♣	<b>医価性</b> 争	·未
名 称	デイサービスセンター 鈴鹿が (三重県指定第 2470300332 介護予防通所介護事業所・ に相当する第1号通所介護 (鈴鹿亀山地区広域連合指	号) 介護予防通 事業所	[通所介護事業所]
所在地	鈴鹿市深溝町字北林 2956	番地	
開設日	平成 5 年 10 月 1 日		
類 型	大規模型事業所Ⅱ/老人テ	゛゙イサービス事	業
定 員	60 名/平成 29 年 12 月~7	70 名	
事業の概要			、スセンターに通い、他のご利用者と一 ーション、レクリエーション、創作活動の支援
事業計画目標	1.昨年度の取り組み 2.法人からのプレセンテーションに応える 3.さらなる可能性の模索		
事業報 <del>告</del>	1.昨年度の取り組み		
	計画に位置付けた事項	評価	内容等
	① 利用者数、利用日数 の管理方法変更	[0]	>変更済
	② サービス内容の充実	[0]	➢個別対応の充実、柔軟な提供時間、1回/2月のグループ体操の変更、機能訓練メニューの増加等を行いました。
	③運営状況推移の把 【○】		
2.新しい介護予防・日常生活支援総合事業の実施			
	計画に位置付けた事項 ① 事業所内の総合事	評価	内容等  ⇒主任会議、職員会議において
	** 業に関する情報共有 (H29.3 月中)	101	情報共有を図りました。
	② 事業対象となった場合の再契約	[0]	⇒対象者については介護保険証の更新時に再契約を行いました。(対象者:18名)
	③ 総合事業へ移行後 も継続的なサービスの 提供	[0]	⇒アセスメントシートを用い課題抽出 を行い、介護予防支援計画を 作成しました。

④ 通所型サービスBの提供	[0]	⇒対象者なし
⑤次年度(平成30年度) に向けた情報収集、 情報共有	_	>研修会の参加等により情報収集、職員への情報共有を行いました。
⑥ 定員の変更	[0]	>H29.12 に 60 名から 70 名に 変更済

### 3.個別ケアの推進

計画に位置付けた事項	評価	内容等
① サービス担当者会議で	[0]	>年間 144 回
困りごとの聴き取り		
② ケアカンファレンス(ケア検	[0]	>新規利用時、介護保険証更新
討会議)で職員に報		時、ケアの内容に変更がある場
告		合は申し送り等を行いました。
③ 日課表にサービス内容	[0]	≻ケアカンファレンスにおいて検討
を記載		し、変更があった場合は修正し
		ました。
④ ケアカンファレンスや会議	[0]	≻ケアカンファレンスに出席していな
録にて職員に発信		い職員には、日課表を配布し
		ました。
⑤ 実施→評価	[0]	≻実施した効果についてケアカンフ
		ァレンスにおいて評価。必要に応
		じて修正を行いました。

### 4.リハビリテーションの実践

1.7.10 // / // // // // // // // // // // //		
計画に位置付けた事項	評価	内容等
① 先進的取組事業所	[0]	≻鈴鹿市内の事業所の見学を行
の見学		いました。
② 科学的根拠の検討	[×]	≻検討までは至りませんでした。
③ 先進的取組事業所	[0]	>研修会参加及び業者より説
から指導・助言		明・指導を受けました。
④ 科学的根拠に基づ	[0]	>プログラムを検討し、実施し始め
いたリハビリテーションの		たところ
実践		

### 5.成果(アウトカム)を重視した未来型思考ケアの実践

計画に位置付けた事項	評価	内容等
① 評価スケールの検討	[0]	>体力測定 10 項目の評価基準
		を決定しました。

② データ収集と分析	[A]	>H30.3 より実施したためデータ
		収集には至っていません。
③ ②をもとに、ケアに反	[×]	≻ケアの反映までは至っていませ
映		h.
④ サービス担当者会議で	[×]	>3ヶ月に1回、体力測定を実施
の結果報告		し、その結果について報告を予
		定している。
⑤ ①~④の実践を踏ま	[×]	≻自宅での機能訓練メニューの提
えて、教育訓練の実		案を予定している。
施		

# 6.説明責任(アカウンタビリティー)と正しい情報を伝えた上での合意(インフォームド・コンセント)の徹底

評価	内容等
[0]	≻指導内容については、業務内
	容に取り入れ、改善済
[0]	>勤務表・実績作成時に確認、ケ
	アプラン作成時にも確認を行い
	ました。
[0]	>研修会に参加しました。
[0]	>研修会、インターネット等により情
	報収集を行い、会議等におい
	て、情報共有を図りました。
[0]	>ご利用者、ご家族に対して案
	内文書を発信、問い合わせに
	も対応いたしました。
	[O] [O]

### 7.地域に対する事業所機能の活用推進

計画に位置付けた事項	評価	内容等
① 定期的に実績報告	[0]	≻毎月、居宅介護支援事業者へ
		実績報告を行いました。
② 取り組みの紹介	[0]	>ホームヘージ等により発信
③他事業所の取り組み	[0]	>他事業者のホームページ等によ
や稼働状況など情		り情報収集を行いました。
報収集		

### 8.さらなる可能性の模索~介護サービスの品質向上~

計画に位置付けた事項	評価	内容等
而自己产品111111111111111111111111111111111111	P   1944	13113

	T	
(1)顧客管理		
①顧客数管理	[0]	>月間予定表を作成し、追加や
		変更等、顧客数の管理を行い
		ました。
②顧客情報管理	[0]	>アセスメントシートと日課表、文章・
		写真により、どの職員にも分か
		りやすい管理に努めました。
		>個別に作成した顧客のケア情
③ 情報の共有	[0]	報をケアカンファレンスで共有を図
● 情報の六円	101	るとともに、必要な場合に確認
		ができるように要点をまとめた
		書類を作成しました。
(2)品質管理		
①みえ福祉第三者評価	[0]	>5/15 評価機関によるキックオ
の受審		ッフ説明会
		>5 月下旬 利用者家族アンケート
		実施
		>9/4 評価機関による訪問調
		査
		<b>&gt;10/2 評価機関との評価結</b>
		果の確認
		>2月 三重県ホームページ、当法
		人ホームページにおいて公表
② 昨年度の取組みの	[0]	>行事会議(毎月)、アクティビティ
継続		会議(毎月2回)により、内容
44 <u>E</u> 496		の充実を図りました。
③ サービスに関する勉強	[0]	の元美を図りました。 ≥8/12 口腔衛生について
	101	
会の開催(人材育		>12/8 リーダーやこれからリーダ
成、介護プロフェショナルキ		-になる人のための研修会
ャリア段位等)		>12/10 機能訓練で結果を出
		すためのメソット、実践
		>2/15 介護報酬改定セミナー



## ★ 第二種社会福祉事業

<b>▲</b> 第二種社会福祉事業				
名 称	サロン花葉 【平成 30 年 1 月 1 日に既認 発展的に移転いたしました。 (地域密着型通所介護事業) ・介護予防通所介護に相当 (鈴鹿亀山地区広域連合指別	( <mark>現在休止</mark> 所/介護予 する第1号)	(中)】 ・防通所介護事業所 通所介護事業)	
所在地	鈴鹿市算所 5 丁目 3 番 12·	号		
開設日	平成 23 年 4 月 1 日			
類 型	地域密着型事業所/老人テ	゛イサーヒ゛ス事	業	
定 員	10 名			
事業の概要	事業所の送迎により、日帰りでデイサービスセンターに通い、他のご利用者と一緒に、食事や入浴などの介護、リハビリテーション、レクリエーション、創作活動の支援などを行います。			
事業計画目標	進化系サロン花葉へ〜未タ	来型デイサー	-ビスを視野に入れて~	
事業報告	1.新しい介護予防・日常生	生活支援	総合事業の実施	
	計画に位置付けた事項	評価	内容等	
	① 事業対象者、要支援 者の積極的な受け 入れ	[0]	<ul><li>&gt;問い合わせ:4件</li><li>&gt;発展的移転に伴い、説明を行いました。</li></ul>	
	② 総合事業の制度などの再確認とサロンスタッフへの研修	[0]	>4/6 内部研修開催(6名参加)	
	③地域、各事業所との連 携と情報交換	[0]	<ul> <li>⇒鈴鹿西部地域包括支援センターー、鈴鹿市ディサービス事業所連絡協議会と情報交換を行いました。</li> <li>⇒10/14 ディサービス「はらから」運営推進会議に2名出席</li> </ul>	
	2.新たなサロンの構築			
	計画に位置付けた事項	評価	内容等	
	① 個別ケアのさらなる推進	[0]		
	② 機能訓練の実践	[0]	>ホールやゴムチューブ等を使用した機能訓練を実施しました。	
	③ 運営推進会議の開	[0]	>10/7 開催 8 名参加	

催		
④ 事業所のコンセプト及	[0]	>会議やミーティング等によりご利
びサービス内容の再ア		用者のニーズ等を確認、実施、
セスメント(課題分析)		評価を行いました。
⑤ 未来型思考による	[0]	➢植物を用いた活用改善を行い
事業所内外の環境		ました。
の改善		

### 3.事業所認知度の向上

計画に位置付けた事項	評価	内容等
① 居宅介護支援事業	[0]	>計 15 件訪問
所への訪問		
② 広報活動	[0]	>>グリーンホームだよりに計 8 件掲
		載
③ 交流会の開催	[0]	>6/3、1/13 交流会開催
		延べ 31 名参加

### 4.地域貢献活動

評価	内容等
[0]	≻地域ケア会議等により情報発
	信を行いました。
[0]	≻地域ケア会議等により情報発
	信を行いました。
[0]	>8/17 鈴鹿市ワークキャンプ小
	学生(清和中学校)生徒 3 名
	受入れ
[0]	>1 名受入れ
[0]	>4/27 地域ケア会議(牧田地
	区)に出席
[A]	>地域ケア会議において、民生委
	員様等へ情報発信を行うこと
	ができたが、まだまだ不足に感
	じています。
	[O] [O] [O]

### 5. 人材育成

計画に位置付けた事項	評価	内容等
① 人事考課・目標シート	[0]	≻人事考課シートを用いて、ヒアリン
を用いた指導、ヒアリン		グを行いました。
がの実施		
②サロン内外の研修	[0]	>法人事業報告 5③のとおり
③説明責任(アカウンタビリ	[×]	≻不十分であり、今後の課題の
ティー)と正しい情報を		一つとして努めてまいります。
伝えた上での合意(イ		
ンフォームト゛・コンセント)に		
ついて学ぶ		
④ 7S(整理·整頓·清	[Δ]	≻意識して取り組むが、まだまだ
潔·清掃·躾·指導·接		不十分であった。
遇)活動		

## 6.安心・安全に

計画に位置付けた事項	評価	内容等
① 介護事故防止・ヒヤリ	[0]	≻介護事故:0件、ヒヤリハット事
ハット活動の取り組み		例:3 件 発生日にミーティングを
		行い、意識を高めました。
		>交通事故:1件 送迎中に後
		方より追突される事故が発生
		しました。
② 食中毒・感染症発生	[0]	≻手洗いとうがいを励行しまし
防止		た。
		≻食中毒警報発令時の注意すべ
		き点について職員に周知しまし
		た。
③ 交通法規遵守と車両	[0]	>交通安全週間、天候等による
管理		注意事項等について、職員に
		啓発を行いました。



## 第二種社会福祉事業

名 称	在宅介護支援センター 鈴鹿グリーンホーム			
所在地	鈴鹿市深溝町字北林 2956 番地			
開設日	平成 10 年 4 月 1 日			
類 型	老人介護支援センター			
事業の概要	地域の高齢者の家庭内の事	数等による	る通報に対応する	とともに高齢者の
	方ならばどなたでも参加できる介護予防教室を介護事業所や地域の公民			所や地域の公民
	館等で開催します。			
事業計画目標	地域支援事業における介護	予防普及图	8発事業の実施	
	高齢者通報体制整備業務の	)実施		
事業報告	1. 鈴鹿市介護予防普及	及啓発事:	業及び高齢者違	<b>通報体制整備事</b>
	業業務委託			
	計画に位置付けた事項	評価	内容	字等
	(1) 鈴鹿市介護予防普	[0]	>年間 54 回、3	近べ 1,388 人参
	及啓発事業受託		加	
	①音楽を楽しむ会(毎週		≫昨年度までの	一次予防事業」
	火曜日)		より鈴鹿市総合	合事業の一環で
	②生きがい活動など(月		ある「介護予防	<b>5普及啓発事業」</b>
	1回程度)		10 10 1 1 1	E。実績計算や
	③ 出張音楽会の地域			更が行われまし
	展開		た。	
	(2) 鈴鹿市高齢者通報	[0]	( )内はH28 年	度実績
	体制整備事業業務		訪問調査によ	53 件
	受託		るもの	(81件)
			電話・FAX等	
			によるもの	(56件)
			▽減少理由とし	
				により対象外と
				多く存在したこと
				がいいては、
				5事務連絡に該
				のは認められな
			い等)	
			>平成30年度	
				リ体制整備事業」
				ます。居宅介護支
				いが、定期的に
				方を対しようとす
			るもので、地域	<b>ゼ包括支援センタ</b>

-と連携を図りながら対応して いきたいと思います。

### 2.車いす等の無料貸し出し事業の継続

計画に位置付けた事項	評価		内容等	
>車いす及びその他の	[0]	(	)内はH2	8 年度実績
福祉用具の無料貸し		貸出物品	件数	延べ日数
出し		車いす	22 件	270日
				(79日)
		ホータフル	6件	179日
		トイレ		(149日)
		シャワーチェ	2 件	93日
		ア		(42日)
		4 点杖	1件	67日
				(15日)



# ▲ 公益事業

	公 益	争	:
名 称	在宅介護支援センター 鈴原 居宅介護支援事業所 (三重県指定第 2470300258	号)	テーム ケアプラン 作成 居宅介護支援事業所
所在地	鈴鹿市深溝町字北林 2956 香	<b></b>	
開設日	平成 11 年 9 月 10 日		
類型	居宅介護支援事業	<u> </u>	< +8,_`\\
事業の概要		の連絡調整	希望に沿ったケアプラン(個別介護計 整や利用の手配、介護保険給付管 います。
事業計画目標	居宅ケアマネジャーとしての文		
			ny problem!~
事業報告	1.特定事業所としての安/	心感~スタ	ハッフ全員で地域を支える~
	計画に位置付けた事項	評価	内容等
	(1) ケアマネシ・ャー増員によ	[0]	>毎月担当ケアマネジャーによる居
	る地域に対する相談		宅へのモニタリング訪問の実施、
	支援体制の強化		毎月利用事業所への提供表
	(2) 利用者のモニタリンク゛		持参の機会等により適宜訪問
	(状況把握)活動と介		を実施しました。
	護サービス事業所との		>介護支援専門員を1名増員し
	連携強化		たことで、ケース数の増加や細
	(3) 利用者に対するこれ		かなニーズへの対応力向上につ
	まで以上の公平公		なげられました。
	正な地域の社会資		>社会資源ファイルの拡充に努
	源や介護サービス事業		め、書面を活用した利用者に
	所の情報提供		適した公平公正な介護サービス
			事業所の情報提供につなげま
			した。
	(4) 定期運営会議・居宅	[0]	法人事業報告 5.−③をご覧くださ
	内研修の継続、各種		[ [,
	外部研修会への参		
	加(特に医療面を中		
	心とする)、地域ケア		
	会議やケアプラン点検・		
	各種ケース検討会へ		
	の事例提供など協		
	力推進	[0]	、 <b>公</b> 库工初州进与红土运以上
	(5) 困難ケースへの対応	[0]	>鈴鹿西部地域包括支援センター

52 鈴鹿福祉会

と、地域とのつなが		をはじめ、鈴鹿市長寿社会課
りを意識した連携推		や鈴鹿亀山地区広域連合の
進・強化		求めに応じ、いわゆる困難ケー
		スへの関与・対応を行いまし
		た。
(6) 研修内での各担当ケ	[0]	>当該年度は計 31 件の同行訪
-スの開示および定		問を実施しました。そのた必要
期的な相互担当ケー		に応じて各担当ケアマネジャーが
スへの同行訪問・困		抱える課題に他のケアマネジャー
難ケースへの複数ケアマ		が相談に応じ、適宜関与しまし
ネの関与		た。
(7) 人事考課による自己	[0]	>人事考課制度を活かし、各自
覚知と資質の向上		の年間目標の設定や振り返り
(8) 和顔愛語の実践		による自己覚知と資質の向上
		につなげました。また適宜職員
		間の交流を図り、ストレスを抱え
		込み過ぎず、常に相互で相談
		し合える関係の維持・向上に
		努めました。

2.介護保険制度に対応する~変化する制度への順応と説明責任 (アカウンタビリティ)の実践~

評価	内容等
[0]	>鈴鹿西部地域包括支援センター
	と鈴鹿亀山地区広域連合と連
	携を図り、日常生活支援総合
	事業に対する理解を求めると
	ともに、必要に応じご利用者・
	ご家族への説明に努めました。
	>平成 30 年 4 月の介護報酬改
	定に対しても、研修会への参
	加や行政・業界団体等の情報
	をこまめにチェックすることで、遅
	滞なく最新情報を把握し理解
	したうえで、ご利用者・ご家族
	への説明に努めました。

3.地域貢献活動の推進~社会福祉法人として地域に安心感をお届けする活動の実践~

計画に位置付けた事項	評価	内容等
------------	----	-----

T. T.		T = =	
	(1) 介護予防普及啓発事業と連動したハイリスク高齢者へのアプロー		※詳細につきましては、在宅介 護支援センター事業報告をご参 照ください。
	£		
	(2) 鈴鹿市健康福祉部	[0]	>1④に挙げた困難事例での
	長寿社会課·鈴鹿亀		連携に加え、民生児童委員協
	山地区広域連合·鈴		議会や地域ケア会議への出席
	鹿市西部地域包括		等、各関係機関の求めに応
	支援センター・地域の		じ、適宜連携を図りました。
	民生児童委員・他事		≫昨年に引き続き、鈴鹿西部地
	業所との連携		域包括支援センターを通じ、石
			薬師明るい街づくり協議会か
			らの求めに応じ、「石薬師ふれ
			愛フェスティハ・ル」へ参加いたしま
			した。
	(3) 地域の中の各種社	[0]	≻新規開設事業所の内覧会等
	会資源の情報収集		による情報収集や必要に応じ
	および連携強化		たパンフレット等の取り寄せによ
			り、社会資源ファイルの各事由と
			ご利用者への適切な情報提供
			を行いました。また必要に応じ
			連携を図り利用に向けた支援
			を行いました。
	 (4) 医療機関との連携	[0]	>ご利用者の入退院時の情報共
	(サ) 区別成队区の足法	101	有や連携、ケアプランの主治医
			への提出と意見確認等を通
			じ、近隣医療機関と適宜連携
			を図りました。また研修につい
			ても疾患や医療連携を意識し
			た内容のものについて積極的
			に参加しました。
	(5) 地域内の他居宅介	[0]	≻会議出席等を通じ、相互の情
	護支援事業所との連		報交換や不明な点の確認・業
	携		務内容の相互の助言など連携
			を適宜行いました。
	(6) 車椅子等の無料貸し	[0]	≻法人内に有する福祉用具等の
	出し事業の継続		備品を活用し、ご利用者への
			緊急的な貸出等、柔軟な対応
			につなげることができました。
			※件数等につきましては、在宅
			小川双寺につこましては、任七

		介護支援センター事業報告をご
		参照ください。
(7) 徘徊高齢者等の安	[0]	≻法人として「徘徊高齢者等の
心ネットワーク活動(鈴鹿		ための安心ネットワーク」に登録
市社会福祉協議会)		し、適宜届く捜索依頼情報を
への協力		事業所内で共有することで、訪
		問など地域の中を移動する際
		に意識して不明者がいないか
		の創作活動に協力しました。ま
		た担当するご利用者で徘徊リス
		クの高い方に対しては、 当ネット
		ワークについて情報提供を行い
		ました。
(8) 認知症啓発活動へ	[0]	≻11/12 鈴西部地域包括支
の取り組み		援センターの支援のもと、介護
		予防普及啓発事業参加者へ
		の認知症サポーター養成講座を
		開催しました。
		>4/6 認知症キャラバンメイト連絡
		協議会出席
		>2/4 認知症キャラハンメ小養成
		講座受講(1名増員、現在3
		名が受講済)
(9) その他	[0]	≻鈴鹿西部地域包括支援センター
		鈴鹿西部圏域地域ケア会議へ
		の出席 (4/27、5/8、10/5、
		12/6、2/1、2/28)
L		l .

### 4.ホームへ゜ーシ゛による情報発信~地域のみなさまに情報をお届け ~

計画に位置付けた事項	評価	内容等
(1) 利用者に有用・必要	[0]	>食品衛生、熱中症、インフルエン
な情報の発信		ザ、ノロウィルス等季節に応じて
		各種注意喚起をホームページ上
		にて行うとともに、居宅訪問時
		にハンフレットを配布しました。
		>その他、架空請求、介護の日、
		市民講座開催等、地域のみな
		さまに有用と思われる情報の
		発信に努めました。